

施工業者様用



ユーロトレンドドアシリーズ



ACE ドアシリーズ

with  
room

# 室内ドア

設計施工図面集 Vol.3.0

2020.06版

gp door  
Good Price Good Quality

gp ドアシリーズ



マツ浪漫ドアシリーズ

お願い

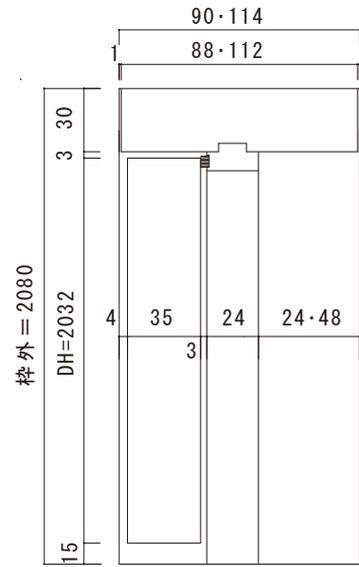
無塗装品は、塗料の施工要領に従って適切な下地処理を行い塗装をしてください。

現場でモヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。

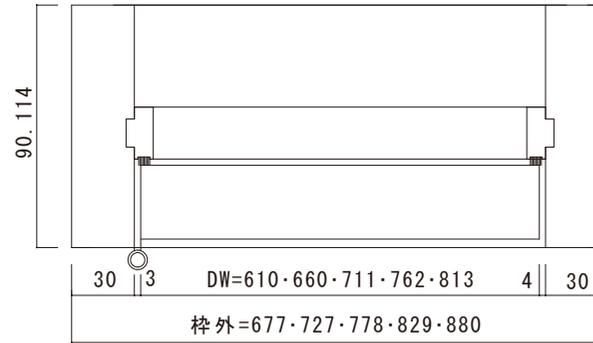
本書は施工・取付・調整の際に必要なになりますので、大切に保管してください。

また、金物パーツの納品形態に関しては、金物仕様書(P15～18)をご参照ください。

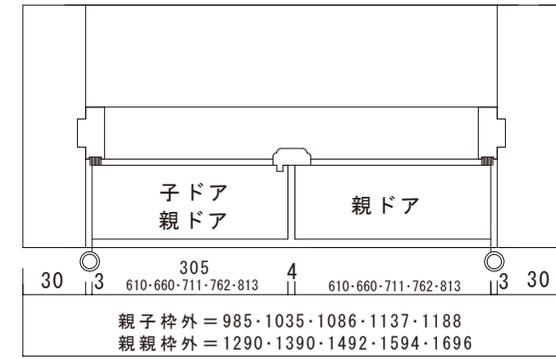
90mm・114mm固定枠



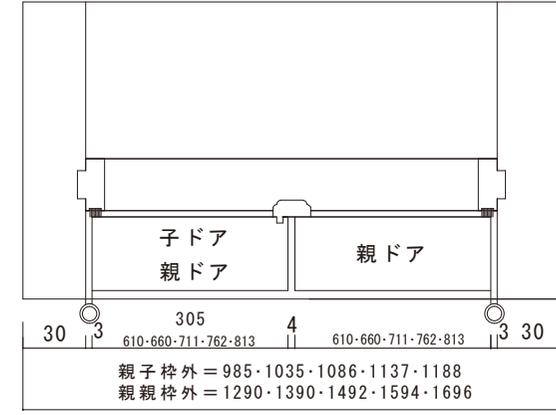
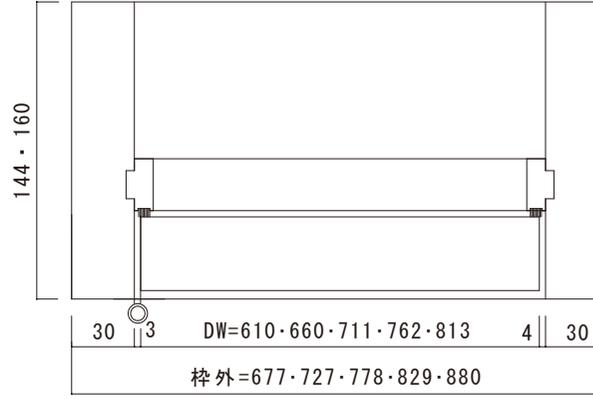
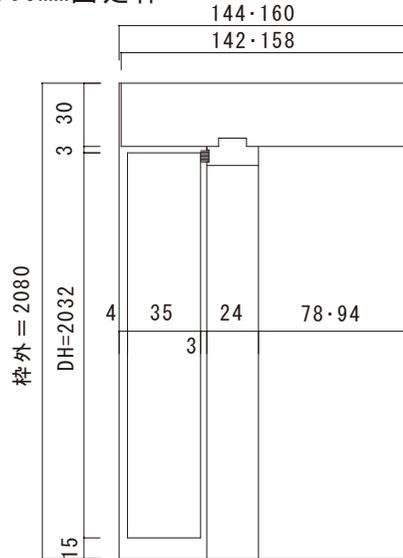
片開き



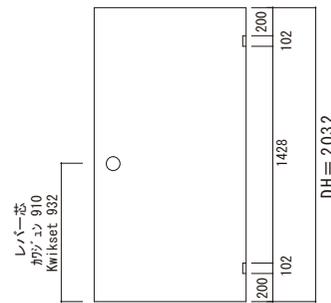
親子・親親



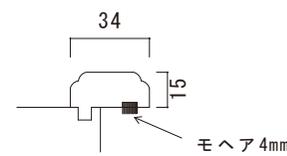
144mm・160mm固定枠



金物加工位置



定規線 拡大図



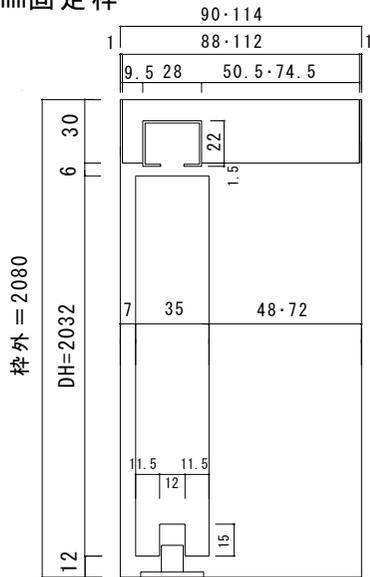
<p>【枠外寸法】 (片開きドア) 高さ: DH+48mm 幅: DW+67mm</p>	<p>【枠外寸法】 (親子ドア) 高さ: DH+48mm 幅: DW+375mm</p>	<p>【枠外寸法】 (親親ドア) 高さ: DH+48mm 幅: DWx2+70mm</p>
--	--	---

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

ユーロトレンドドア	片開き・親子・親親ドア	作成 2017.09.01	改訂1 2018.12.01	図番 PHDWR-001
ACEドア		制定	改訂2	
gpドア・マツ浪漫ドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂3	

<お願い> 現場で毛ヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。

90mm・114mm固定枠



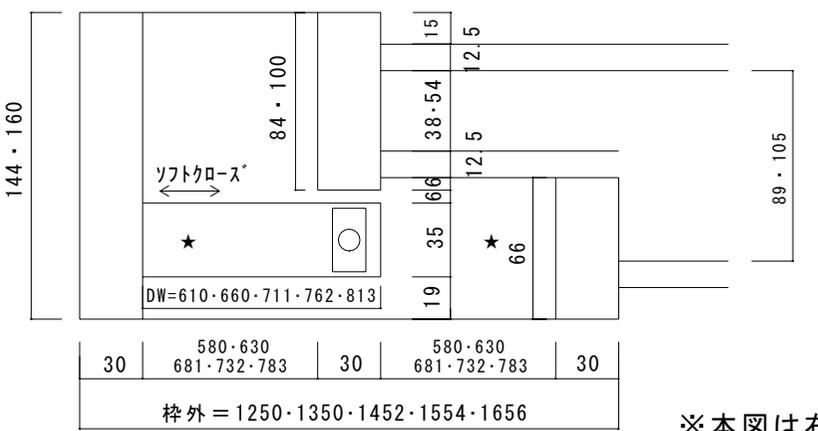
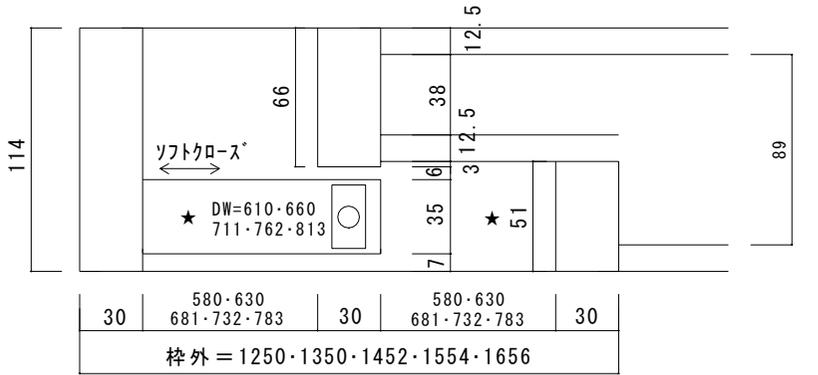
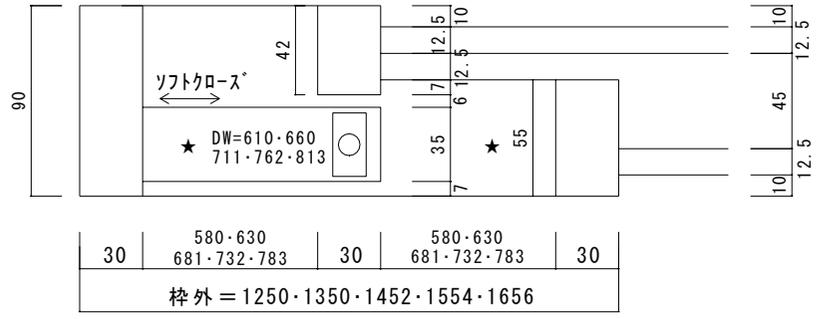
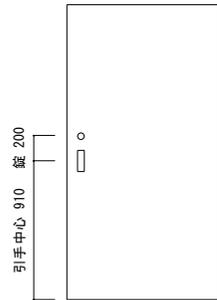
★1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。

★=2WAYソフトクローズ\*トリガ-取付参考位置

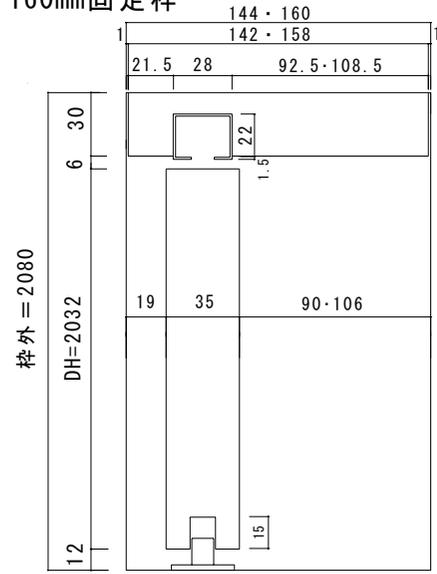
【枠外寸法】  
高さ: DH+48mm  
幅: DWx2+30mm

金物加工位置



※本図は右勝手

144mm・160mm固定枠



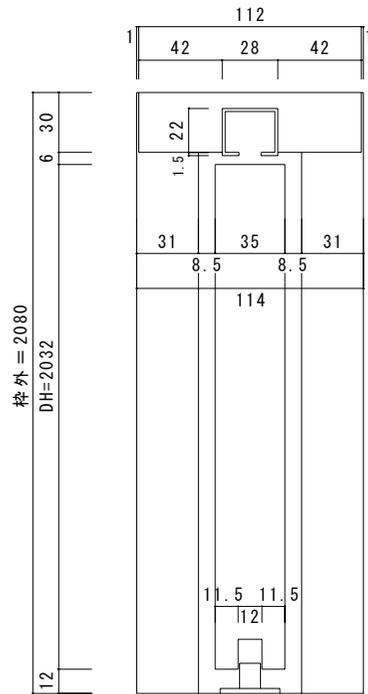
ユーロトレンドドア  
ACEドア  
gpドア・マツ浪漫ドア

片引きドア

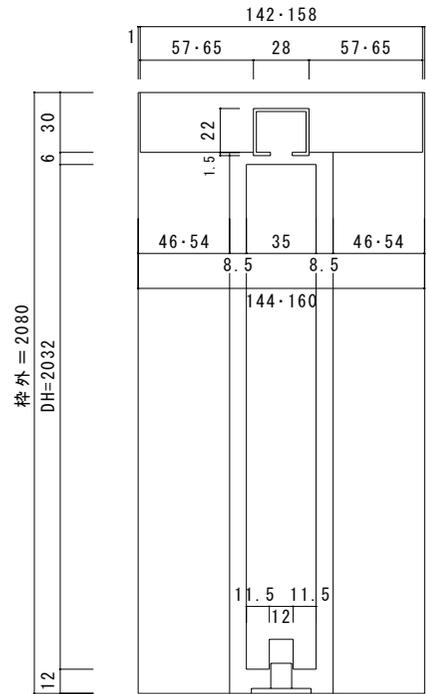
作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01
制定		改訂2	2020.04.01
プレイリーホームズ株式会社		改訂3	

図番  
PHDWR-002

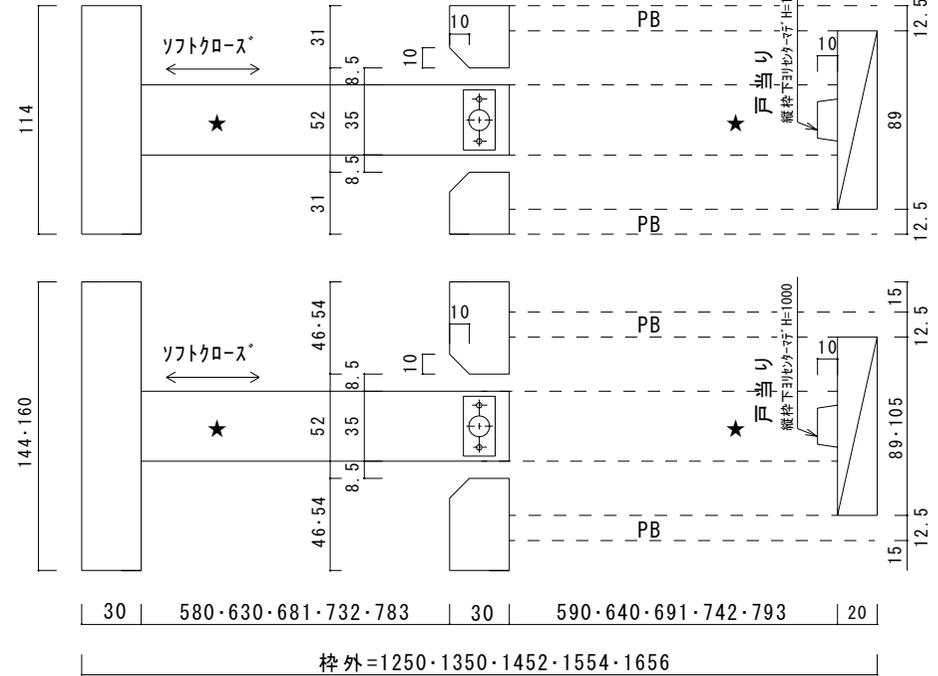
114mm固定枠



144mm・160mm固定枠

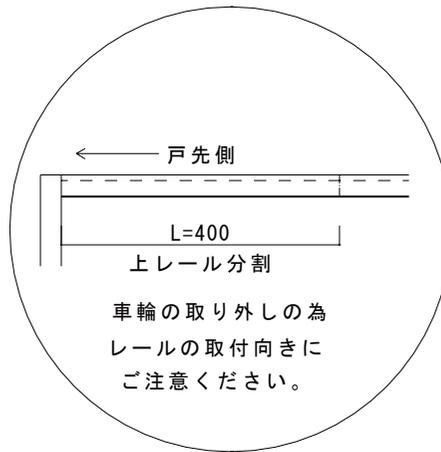
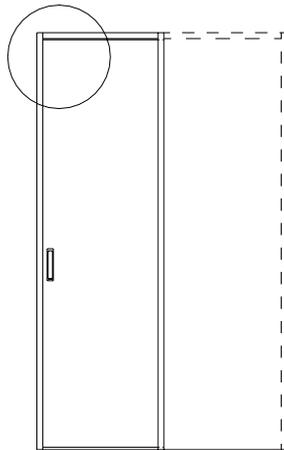


DW=610・660・711・762・813



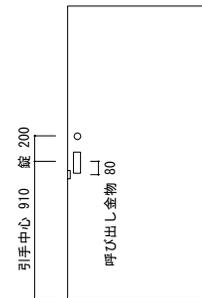
90mm枠は非対応

注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。



★=2WAYソフトクローズトリガ-取付参考位置

金物加工位置

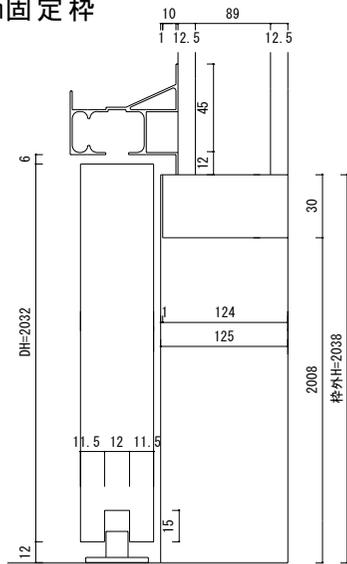


☆ 1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

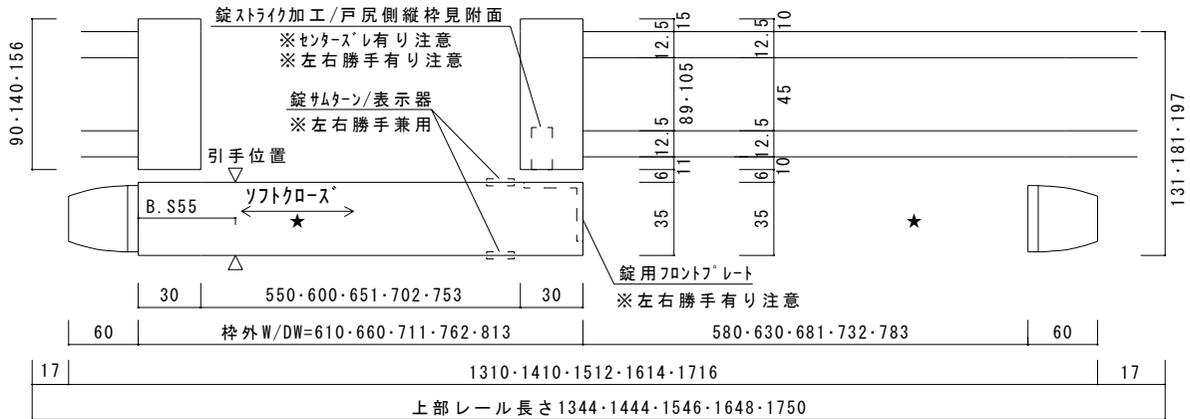
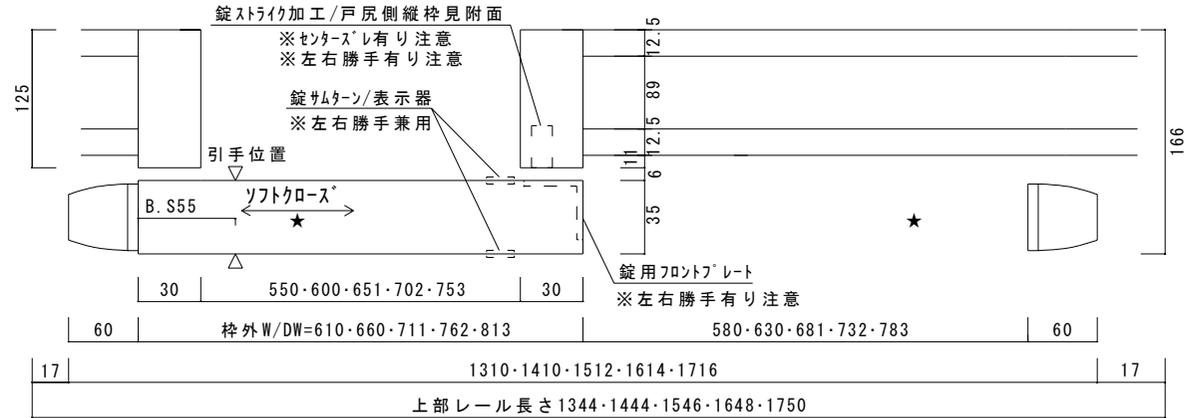
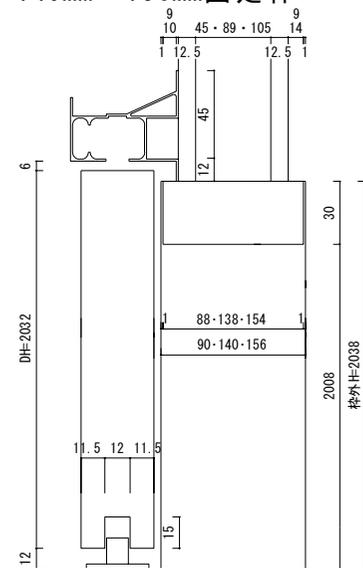
【枠外寸法】  
高さ: DH+48mm  
幅: DWx2+30mm

ユーロトレンドドア	ポケットドア	作成 2017.09.01	改訂1 2018.12.01	図番
ACEドア		制定	改訂2 2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂3	
PHDWR-003				

### 125mm固定枠



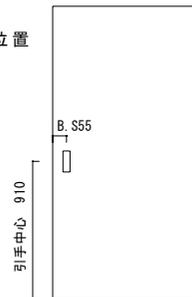
### 90mm・140mm・156mm固定枠



【レール外寸法】

高さ：DH+63mm  
幅：DWx2+124mm

金物加工位置



★=2WAYソフトクローズトリガ-取付参考位置

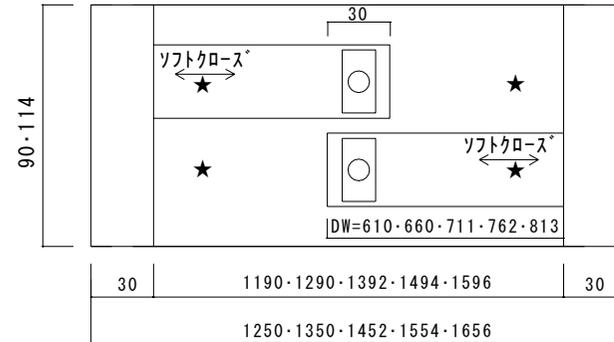
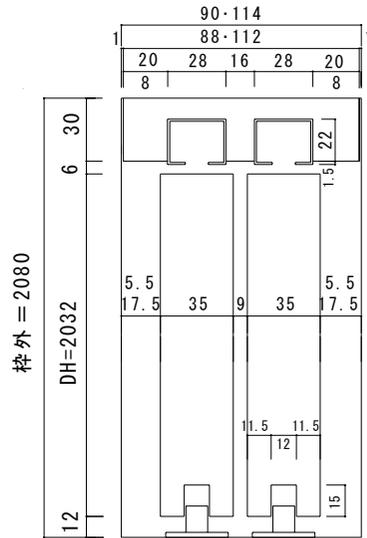
☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。

※本図は右勝手

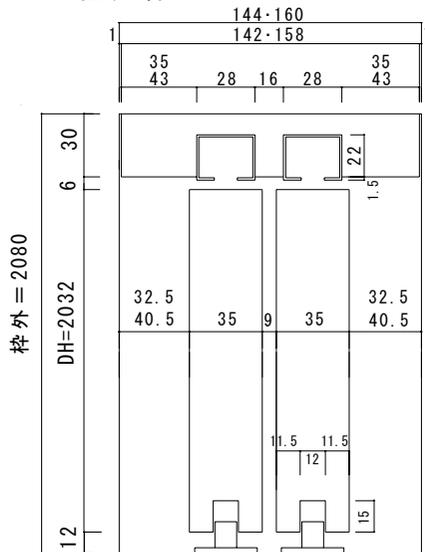
ユーロトレンドドア	アウトセット片引きドア	作成 2017.09.01	改訂1 2018.12.01	図番 PHDWR-004
ACEドア		制定	改訂2 2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		ブレイリーホームズ株式会社	改訂3	

90mm・114mm固定枠



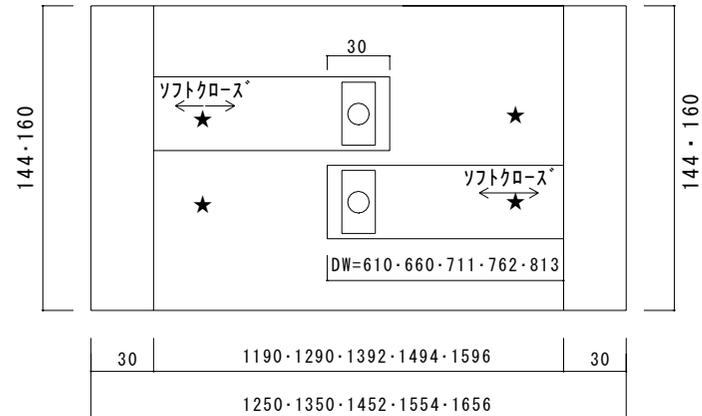
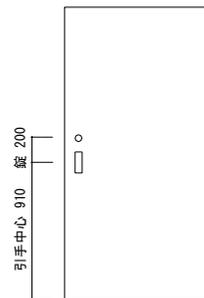
注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。

144mm・160mm固定枠



【枠外寸法】  
高さ：DH+48mm  
幅：DWx2+30mm

金物加工位置

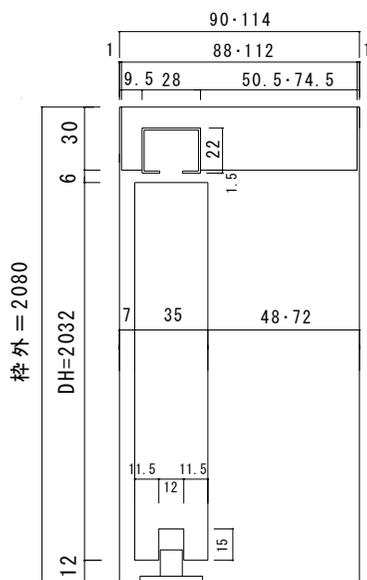


★=2WAYソフトクローズトリガ-取付参考位置

☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

ユーロトレンドドア	2枚引き違いドア	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-005
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		ブレイリーホームズ株式会社	改訂3			

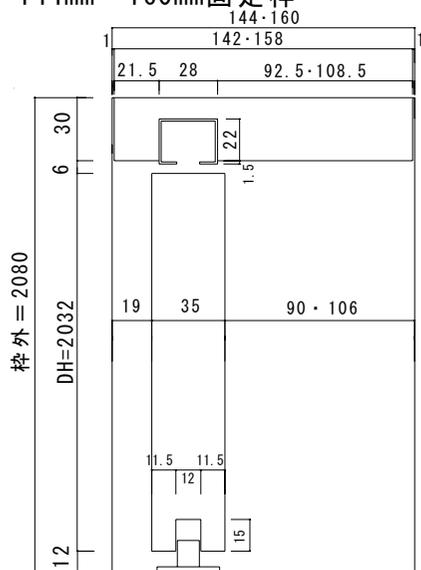
90mm・114mm固定枠



☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

注意！！縦枠はジャストカット  
仕様でカットする必要は  
ありません。

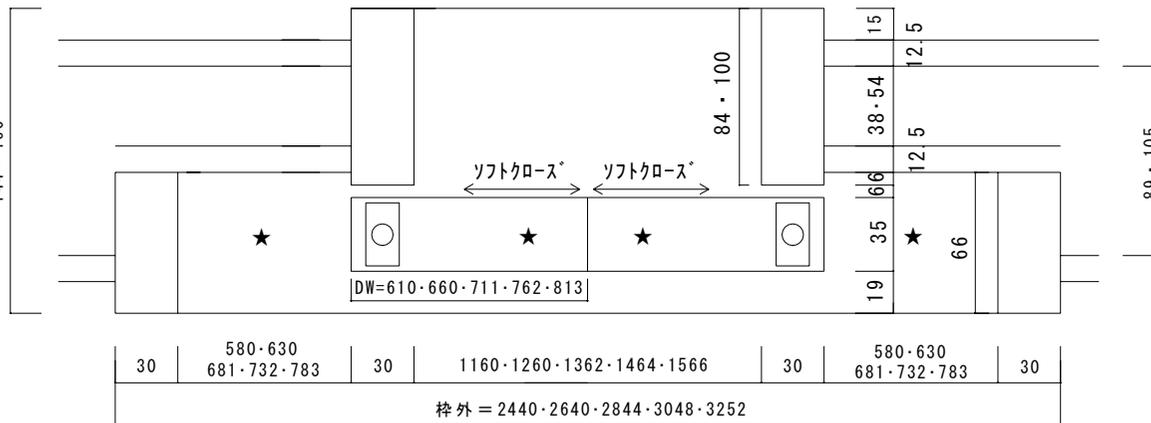
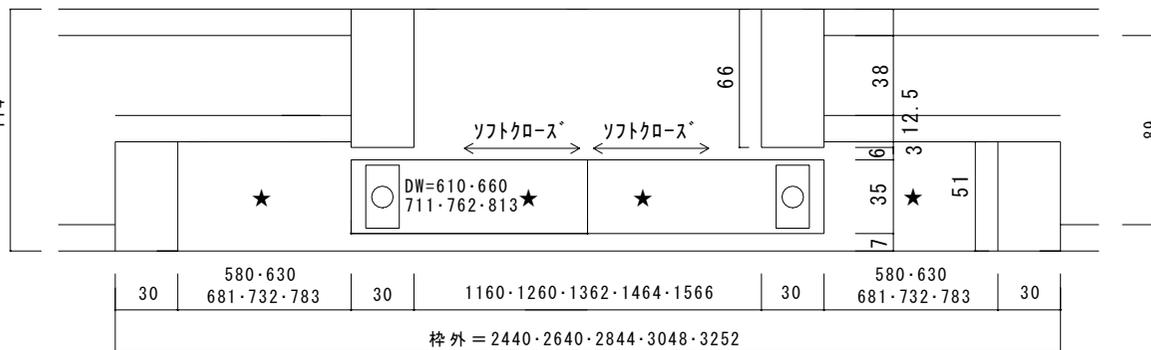
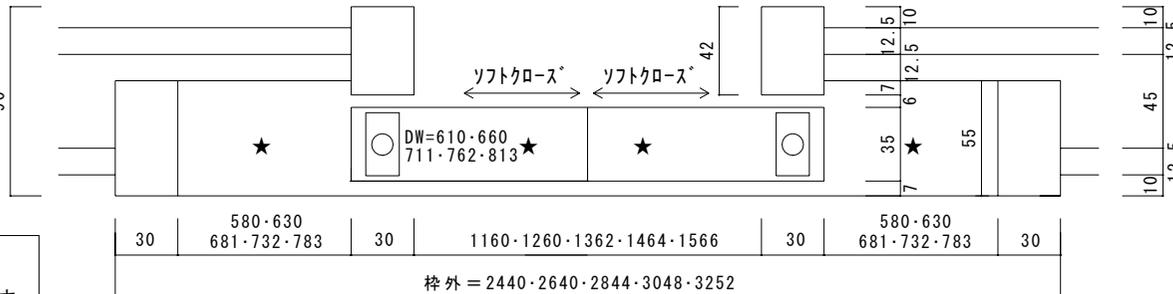
144mm・160mm固定枠



【枠外寸法】  
高さ: DH+48mm  
幅: DWx4

金物加工位置

引手中心 910



☆=2WAYソフトクローズ\*トリカ\*-取付参考位置

ユーロトレンドドア  
ACEドア  
gpドア・マツ浪漫ドア

2枚引き分けドア

作成 2017.09.01  
制定 プレイリーホームズ株式会社  
改訂3

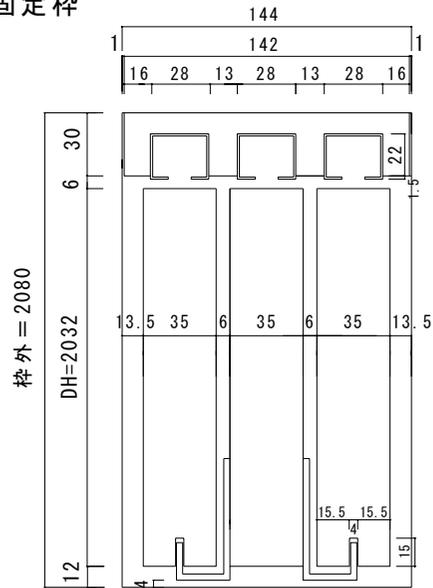
改訂1 2018.12.01  
改訂2 2020.04.01

図番

PHDWR-006

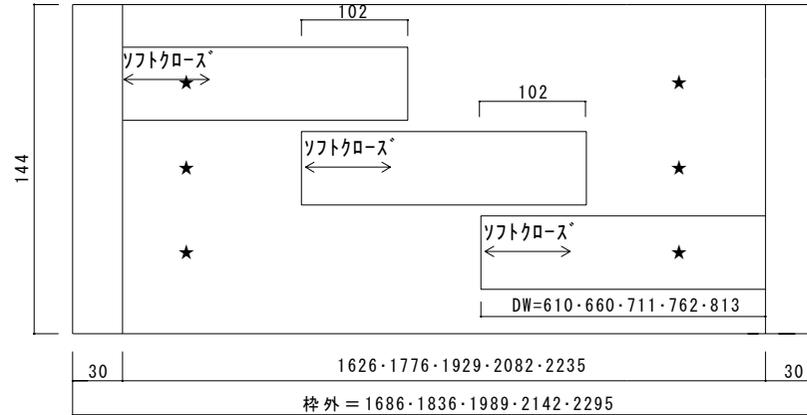


144mm固定枠



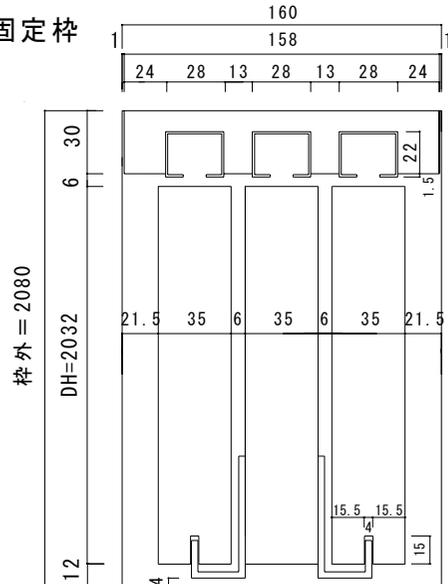
☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。



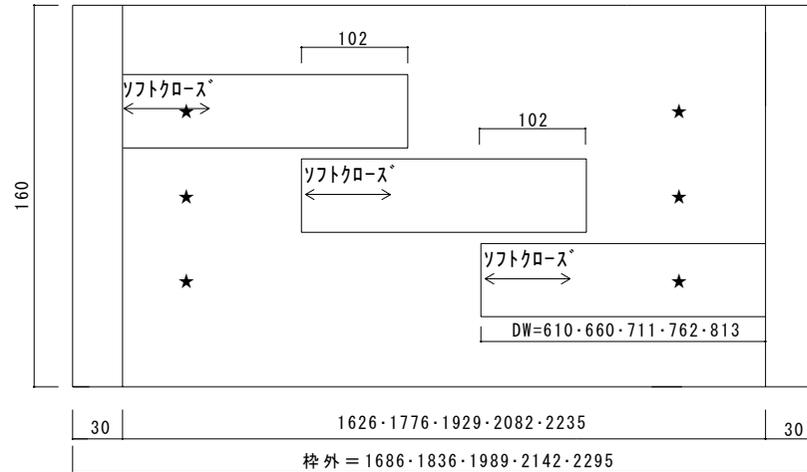
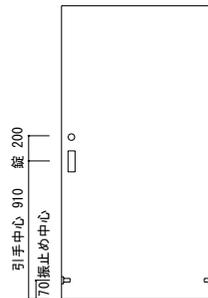
★=2WAYソフトクローズトリガ-取付参考位置

160mm固定枠



【枠外寸法】  
高さ: DH+48mm  
幅: DWx3-144mm

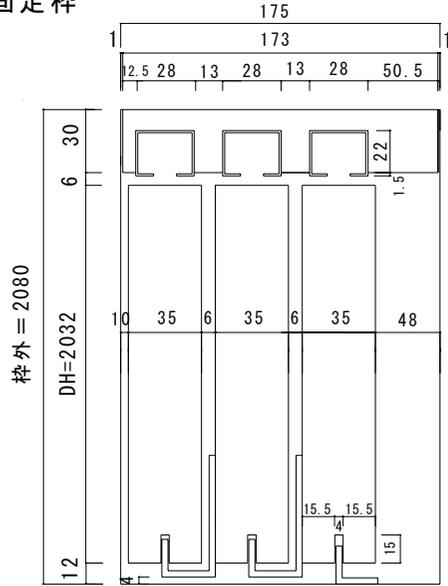
金物加工位置



※ユーロトレンドオリジナルドア, ACEドアのガラスドアは非対応

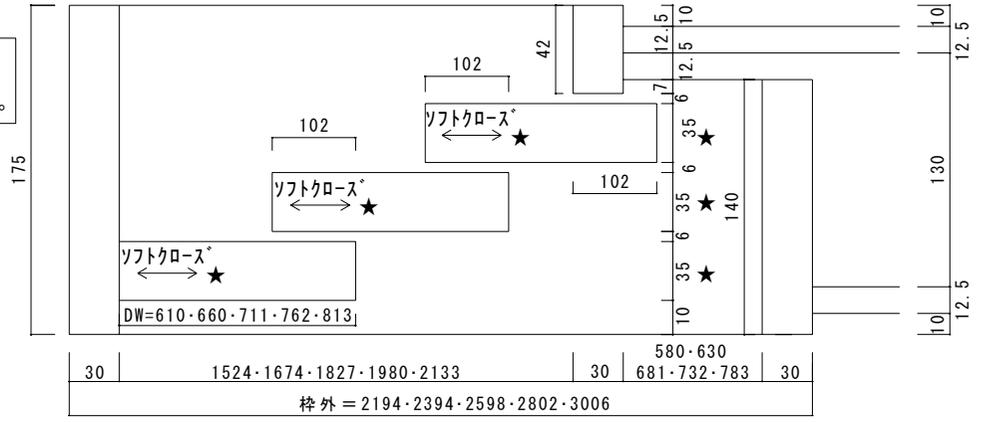
ユーロトレンドドア	3枚引き違いドア	作成	2020.01.01	改訂1	2020.04.01	図番 PHDWR-015
ACEドア		制定		改訂2		
gpドア・マツ浪漫ドア		ブレイリーホームズ株式会社	改訂3			

175mm固定枠

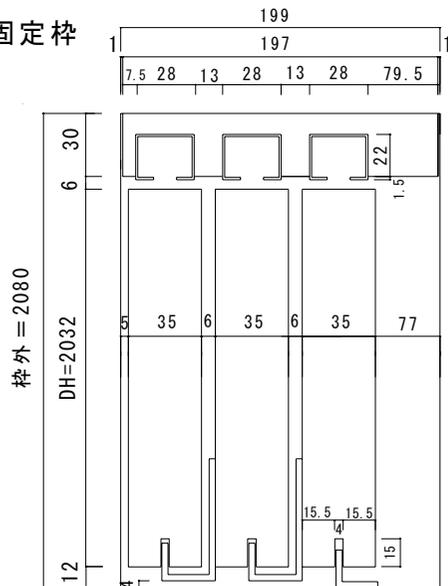


☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

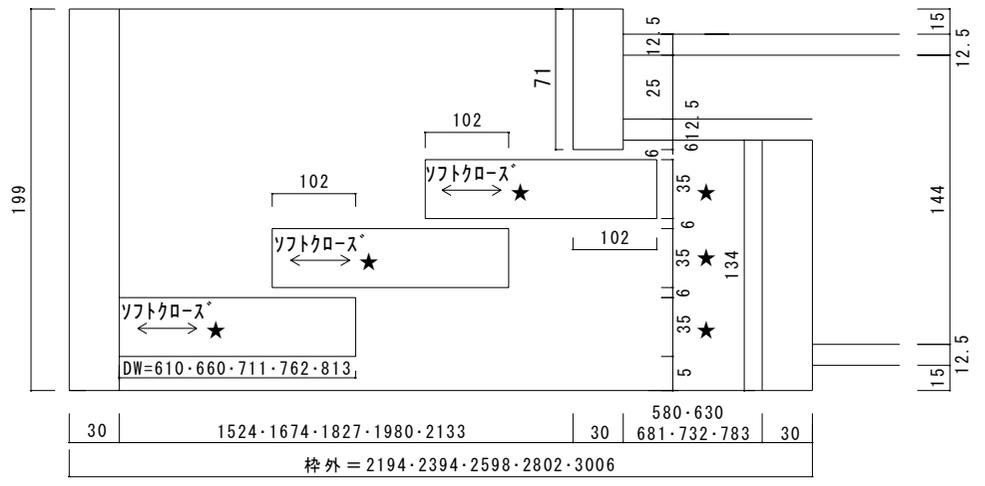
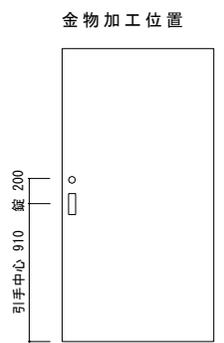
注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。



199mm固定枠



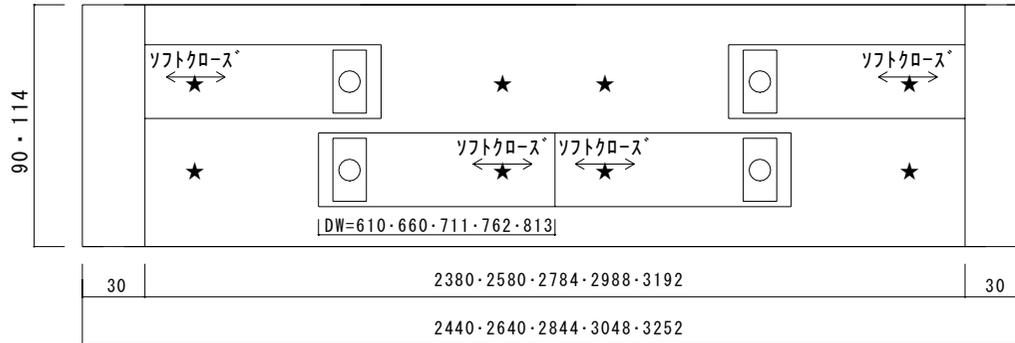
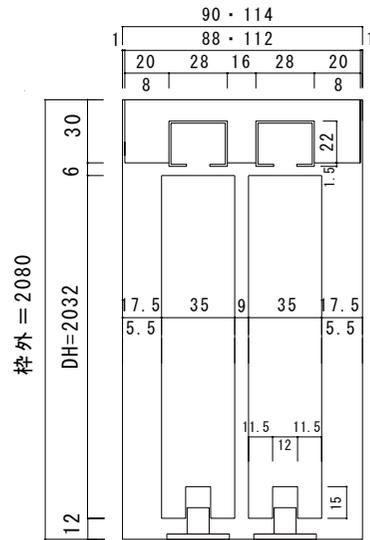
【枠外寸法】  
高さ：DH+48mm  
幅：DWx4-246mm



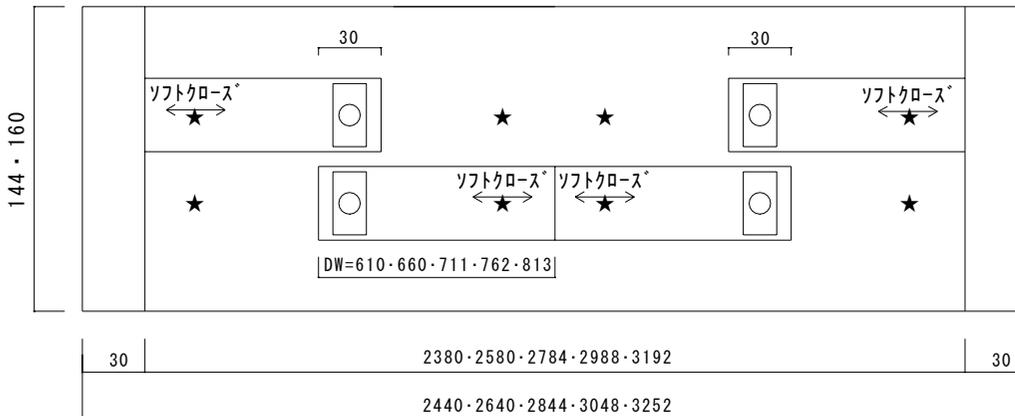
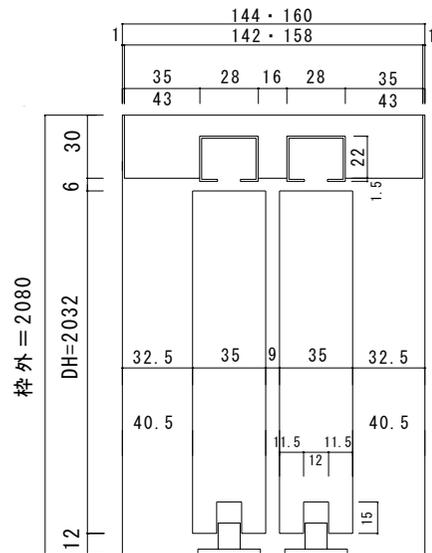
★=2WAYソフトクローズ\*トリガー-取付参考位置  
※ユーロトレンド\*オリジナルドア, ACE\*ドアのガラスドアは非対応  
※本図は右勝手

ユーロトレンドドア	3枚引き込みドア	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-008
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂3			

90mm・114mm固定枠



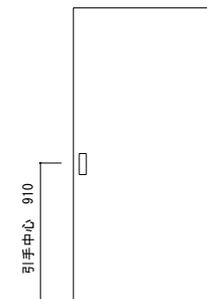
144mm・160mm固定枠



【枠外寸法】  
高さ：DH+48mm  
幅：DW×4

注意！！縦枠はジャストカット仕様で  
カットする必要はありません。

金物加工位置

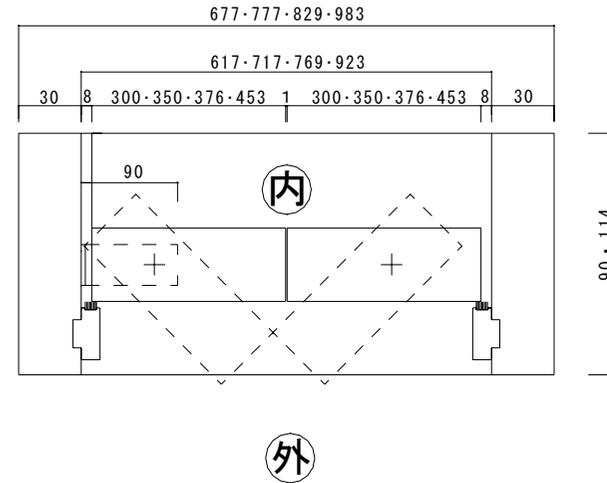
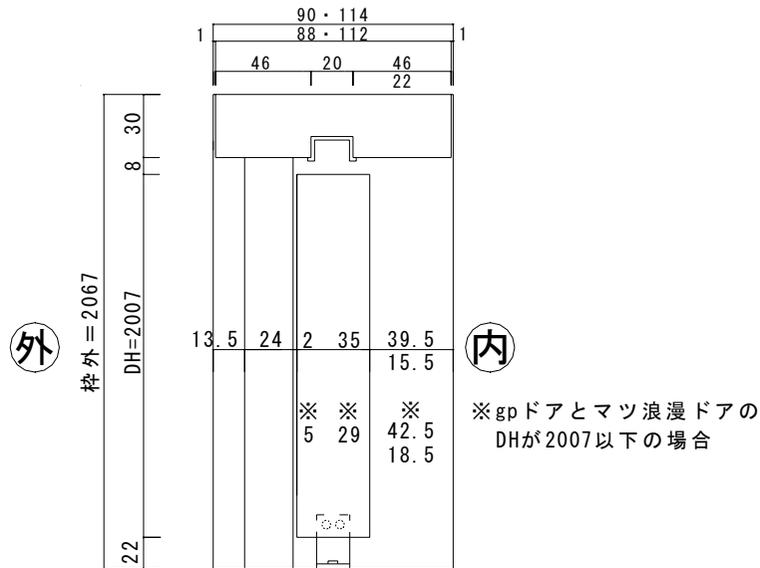


★=2WAYソフトクローズ\*トリガ-取付参考位置

☆1  
gpドアとマツ浪漫ドアの  
ソフトクローズはオプションです。

ユーロトレンドドア	4枚引き違いドア	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-009
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂3			

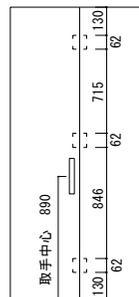
90mm・114mm固定枠



ユーロトレンドオジナル・ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

金物加工位置（現地加工）



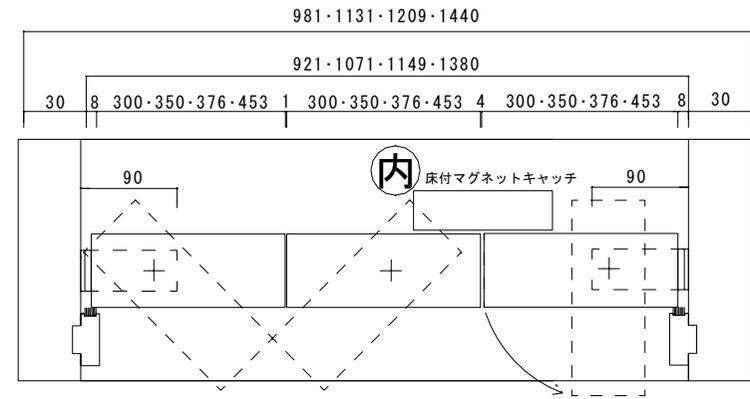
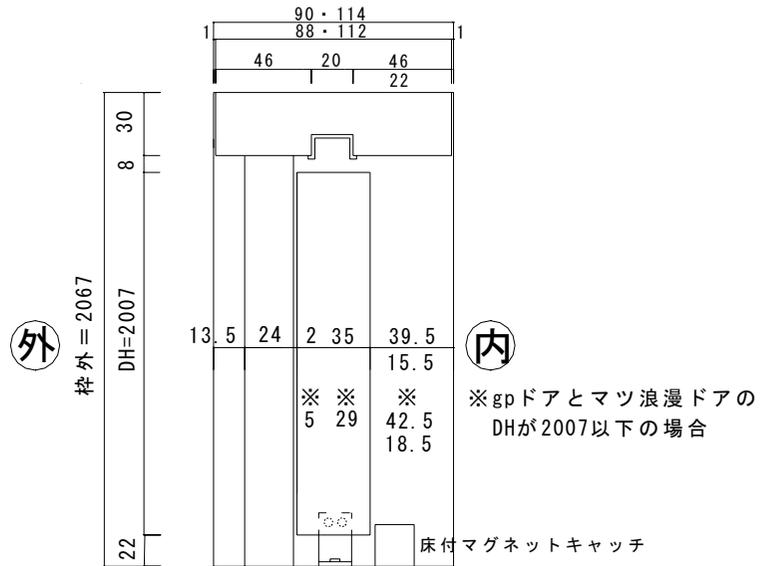
【枠外寸法】  
高さ：DH+60mm  
幅：DWx2+77mm

振止め金具は、扉の裏側に取付願います。

ユーロトレンドドア	2枚折れ戸	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-010
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア			ブレイリーホームズ株式会社	改訂3		

<お願い> 現場でモヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。

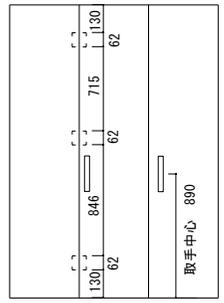
90mm・114mm固定枠



ユーロトレンドオリジナル・ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

金物加工位置（現地加工）



【枠外寸法】  
高さ：DH+60mm  
幅：DWx3+81mm

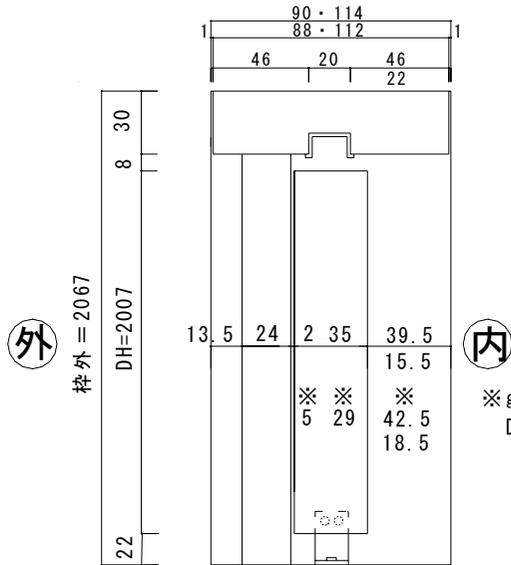
振止め金具は、扉の裏側に取付願います。

※本図は右開き左折れ

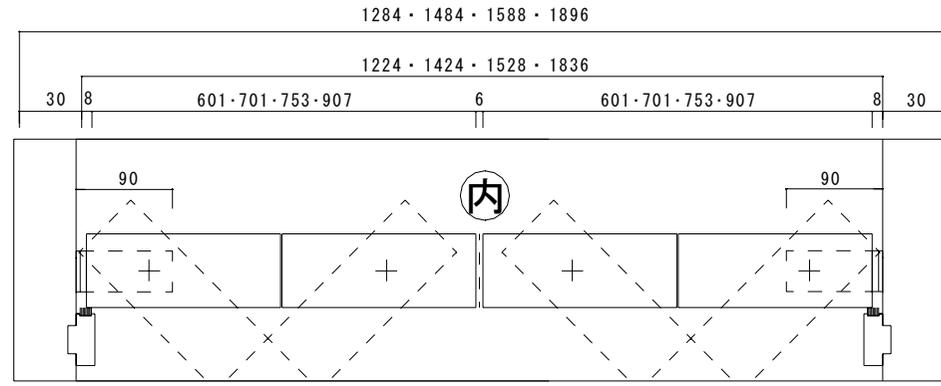
ユーロトレンドドア	3枚折れ戸	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-011
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		ブレイリーホームズ株式会社	改訂3			

<お願い> 現場でモヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。

90mm・114mm固定枠



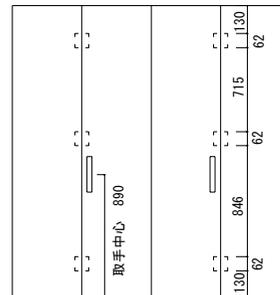
※gpドアとマツ浪漫ドアのDHが2007以下の場合



ユーロトレンドオリジナル・ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

金物加工位置（現地加工）



【枠外寸法】

高さ：DH+60mm

幅：DWx4+84mm

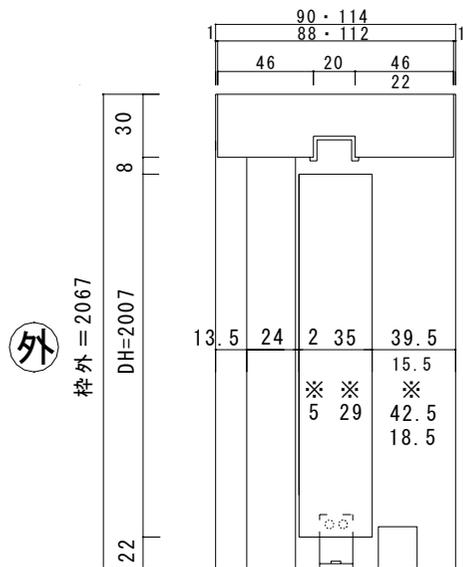
振止め金具は、扉の裏側に取付願います。

ユーロトレンドドア	4枚折れ戸	作成	2017.09.01	改訂1	2018.12.01	図番 PHDWR-012
ACEドア		制定		改訂2	2020.04.01	
gpドア・マツ浪漫ドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂3			

<お願い> 現場でモヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。

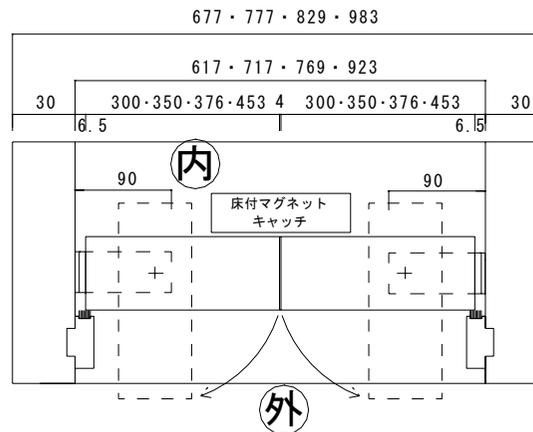
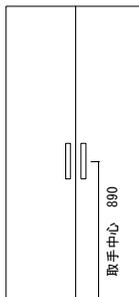
観音開き収納

90mm・114mm固定枠



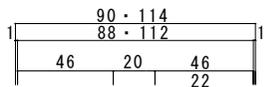
床付マグネットキャッチ(観音開きのみ)

金物加工位置(現地加工)



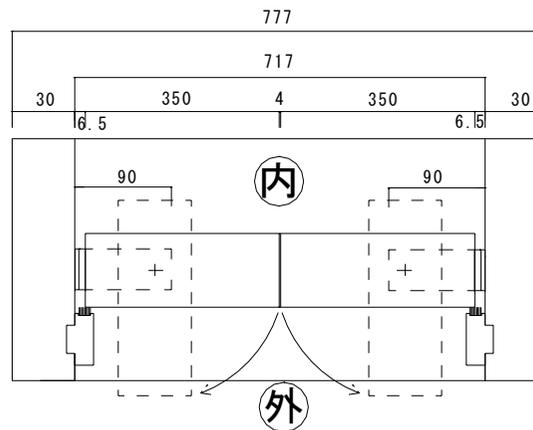
【枠外寸法】  
高さ:DH+60mm  
幅:DWx2+77mm

腰高収納



※gpドアとマツ浪漫ドア

ユーロトレンド・オリジナル・ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。  
注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。



ユーロトレンドドア  
ACEドア  
gpドア・マツ浪漫ドア

観音開き収納  
腰高収納

作成 2017.09.01  
制定  
プレイリーホームズ株式会社

改訂1 2018.12.01  
改訂2 2020.04.01  
改訂3

図番

PHDWR-013  
PHDWR-014

<お願い> 現場でモヘアシールを取り付ける際は、必ず両端部をタッカーなどで固定してください。







3枚折れ戸(PHDWR-0011)						
PC166取手ハンドルタイプ				PB106取手つまみタイプ		
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量
取手	カワジュン	PC166※	x2	カワジュン	PB106※	x2
上レール	アトム	HD-001 シルバー	x1	アトム	HD-001 シルバー	x1
上ビレット	アトム	HD-14	x2	アトム	HD-14	x2
上ビレット受け	アトム	HD-11	x2	アトム	HD-11	x2
下ビレット	アトム	HD-13	x2	アトム	HD-13	x2
下ビレット受け	アトム	HD-15	x2	アトム	HD-15	x2
案内ライナー	アトム	HD-21	x1	アトム	HD-21	x1
丁番	アトム	HD-35GB	x3	アトム	HD-35GB	x3
振止め金具	中尾	NP-61	x1	中尾	NP-61	x1
開き戸用キャッチ	アトム	HD-100GB	x1	アトム	HD-100GB	x1
床付マグネットキャッチ	アトム	マグネットキャッチ	x1	アトム	マグネットキャッチ	x1
モヘア 茶色 6mm	-	モヘアシール6mm	4m	-	モヘアシール6mm	4m

ユーロトレンド・エースドア・gp door/バイン・マツ浪漫ドア			
塗装枠		塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
		○	○
			○
			○
			○
○			○

gp doorバイン・マツ浪漫ドア			
在庫無塗装枠		輸入無塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

gp doorその他	
輸入無塗装枠ドア	
取付	同送
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○

4枚折れ戸(PHDWR-0012)						
PC166取手ハンドルタイプ				PB106取手つまみタイプ		
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量
取手	カワジュン	PC166※	x2	カワジュン	PB106※	x2
上レール	アトム	HD-001 シルバー	x1	アトム	HD-001 シルバー	x1
上ビレット	アトム	HD-14	x2	アトム	HD-14	x2
上ビレット受け	アトム	HD-11	x2	アトム	HD-11	x2
下ビレット	アトム	HD-13	x2	アトム	HD-13	x2
下ビレット受け	アトム	HD-15	x2	アトム	HD-15	x2
案内ライナー	アトム	HD-21	x2	アトム	HD-21	x2
丁番	アトム	HD-35GB	x6	アトム	HD-35GB	x6
振止め金具	中尾	NP-61	x2	中尾	NP-61	x2
モヘア 茶色 6mm	-	モヘアシール6mm	4m	-	モヘアシール6mm	4m

ユーロトレンド・エースドア・gp door/バイン・マツ浪漫ドア			
塗装枠		塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
		○	○
			○
			○
○			○

gp doorバイン・マツ浪漫ドア			
在庫無塗装枠		輸入無塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

gp doorその他	
輸入無塗装枠ドア	
取付	同送
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○

観音開き収納(PHDWR-013)						
PC166取手ハンドルタイプ				PB106取手つまみタイプ		
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量
取手	カワジュン	PC166※	x2	カワジュン	PB106※	x2
上レール	アトム	HD-001 シルバー	x1	アトム	HD-001 シルバー	x1
上ビレット	アトム	HD-14	x2	アトム	HD-14	x2
上ビレット受け	アトム	HD-11	x2	アトム	HD-11	x2
下ビレット	アトム	HD-13	x2	アトム	HD-13	x2
下ビレット受け	アトム	HD-15	x2	アトム	HD-15	x2
開き戸用キャッチ	アトム	HD-100GB	x2	アトム	HD-100GB	x2
床付マグネットキャッチ	アトム	マグネットキャッチ	x1	アトム	マグネットキャッチ	x1
モヘア 茶色 6mm	-	モヘアシール6mm	4m	-	モヘアシール6mm	4m

ユーロトレンド・エースドア・gp door/バイン・マツ浪漫ドア			
塗装枠		塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
○			○

gp doorバイン・マツ浪漫ドア			
在庫無塗装枠		輸入無塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

gp doorその他	
輸入無塗装枠ドア	
取付	同送
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○

腰高収納(PHDWR-014)						
PC166取手ハンドルタイプ				PB106取手つまみタイプ		
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量
取手	カワジュン	PC166※	x2	カワジュン	PB106※	x2
上レール	アトム	HD-001 シルバー	x1	アトム	HD-001 シルバー	x1
上ビレット	アトム	HD-14	x2	アトム	HD-14	x2
上ビレット受け	アトム	HD-11	x2	アトム	HD-11	x2
下ビレット	アトム	HD-13	x2	アトム	HD-13	x2
下ビレット受け	アトム	HD-15	x2	アトム	HD-15	x2
開き戸用キャッチ	アトム	HD-100GB	x2	アトム	HD-100GB	x2
モヘア 茶色 6mm	-	モヘアシール6mm	2m	-	モヘアシール6mm	2m

ユーロトレンド・エースドア・gp door/バイン・マツ浪漫ドア			
塗装枠		塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
○			○

gp doorバイン・マツ浪漫ドア			
在庫無塗装枠		輸入無塗装ドア	
取付	同梱	取付	同送
	○		○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

gp doorその他	
輸入無塗装枠ドア	
取付	同送
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○

# Kwikset ハンコック 取付説明書



62820/01

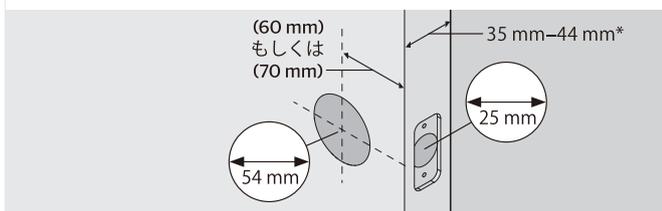


www.kwikset.com

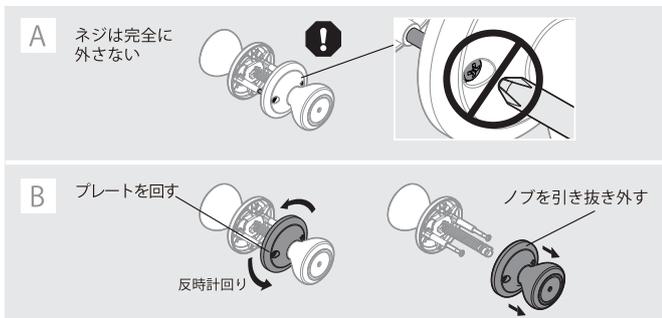
取付に必要な工具	梱包品リスト		
  ラチェットドライバー 取付に便利な工具   wood block	ラッチ A B 同梱されないシリーズもあります	ネジ C D ストライク H ※	空錠ノブ E F もしくは 錠付ノブ J K

※ストライクは使用しません。

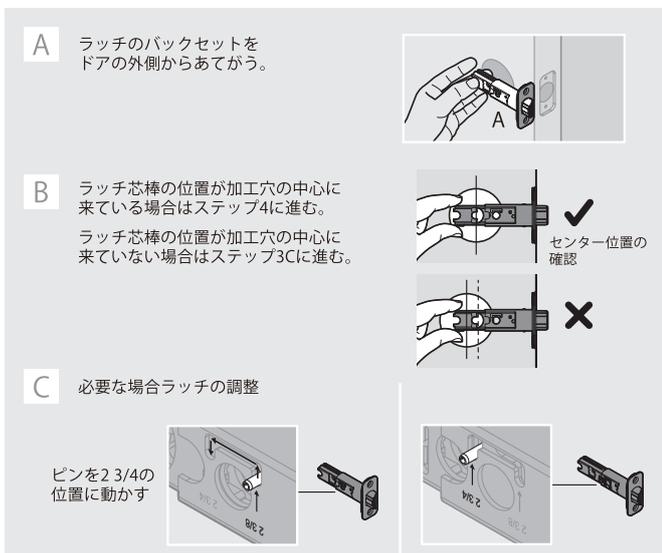
## 1 ドアの準備と各所寸法の確認



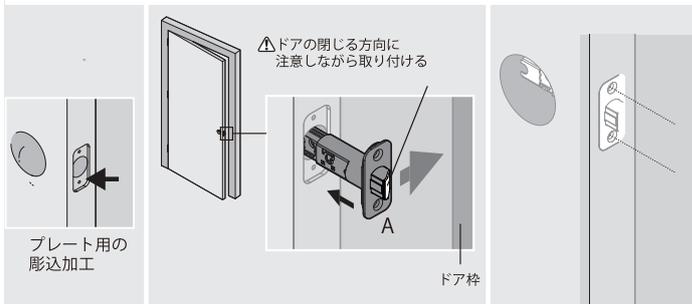
## 2 ノブを取り外す



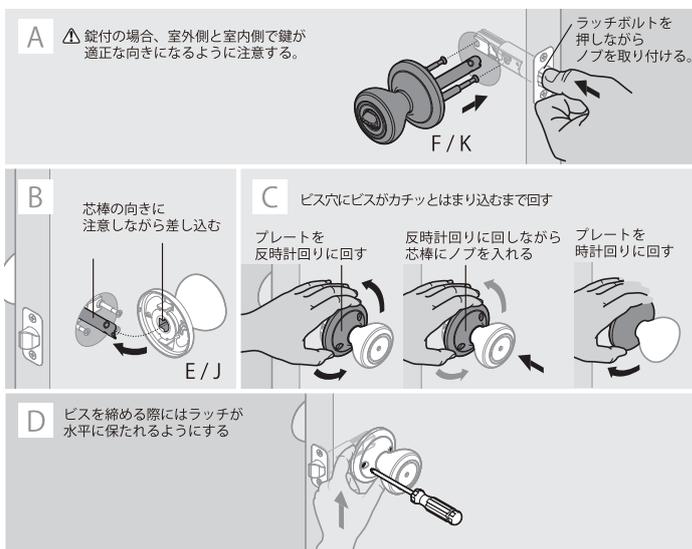
## 3 必要な場合ラッチのバックセットを調整する



## 4 ラッチを取り付ける



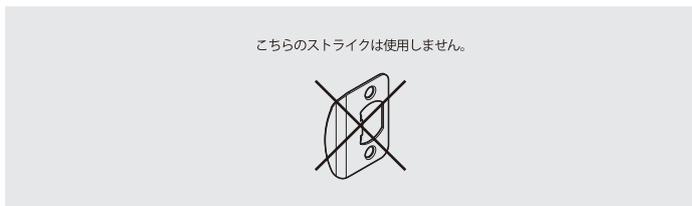
## 5 ノブを取り付ける



### ! 間仕切り錠の緊急鍵解除のために

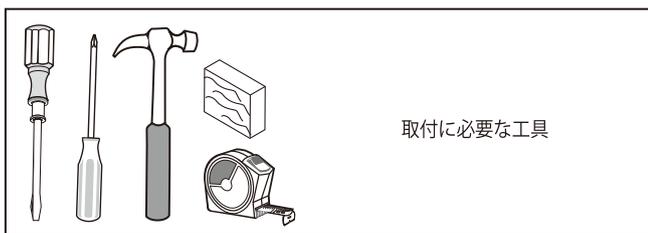


### ! ストライクについて

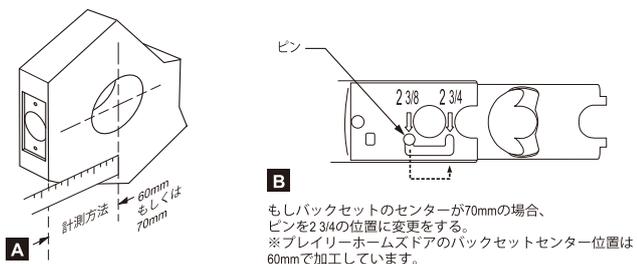


※調整受座が標準になっています。  
Kwiksetに同封されているストライクは使用しません。

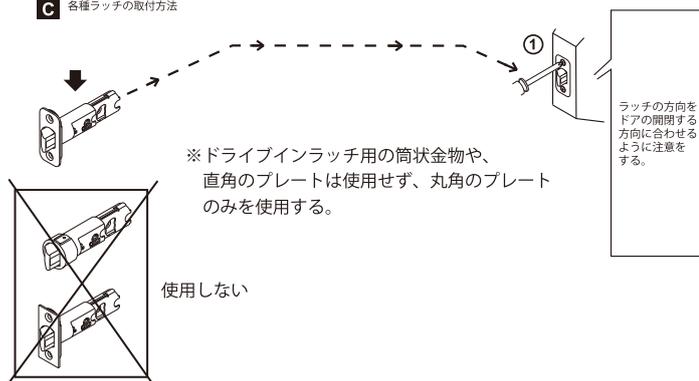
# Kwikset コモンウェルス 取付説明書



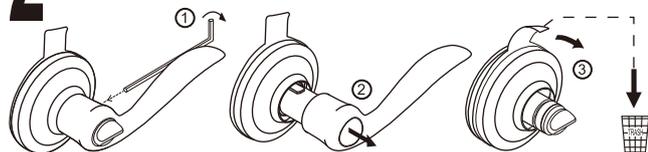
## 1 ラッチの準備



### C 各種ラッチの取付方法



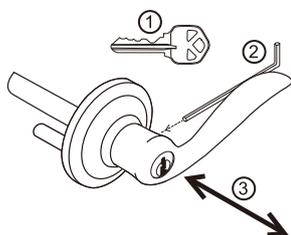
## 2 レバーと養生カバーをプレートから取り外す



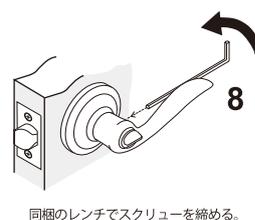
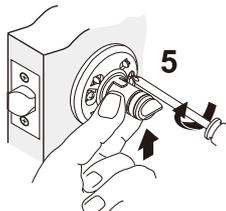
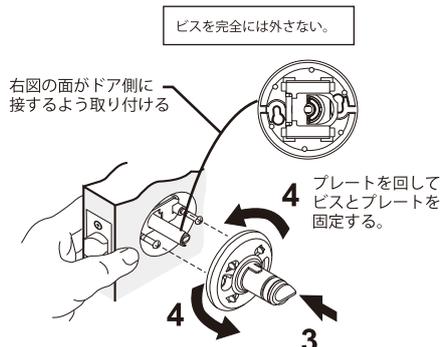
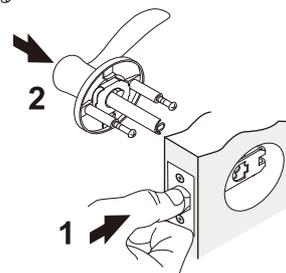
## 3 レバーの吊元方向を変更する場合

レバーを以下のように取り替える：

- 1.(鍵付きの場合)キーを使用して鍵がかかっている状態にする。
- 2.同梱のレンチの長い側をスクリューの穴に差し込みスクリューを緩める。
- 3.レバーを引き抜きもう一方のレバーに差し替える。



## 4 レバーを取り付ける



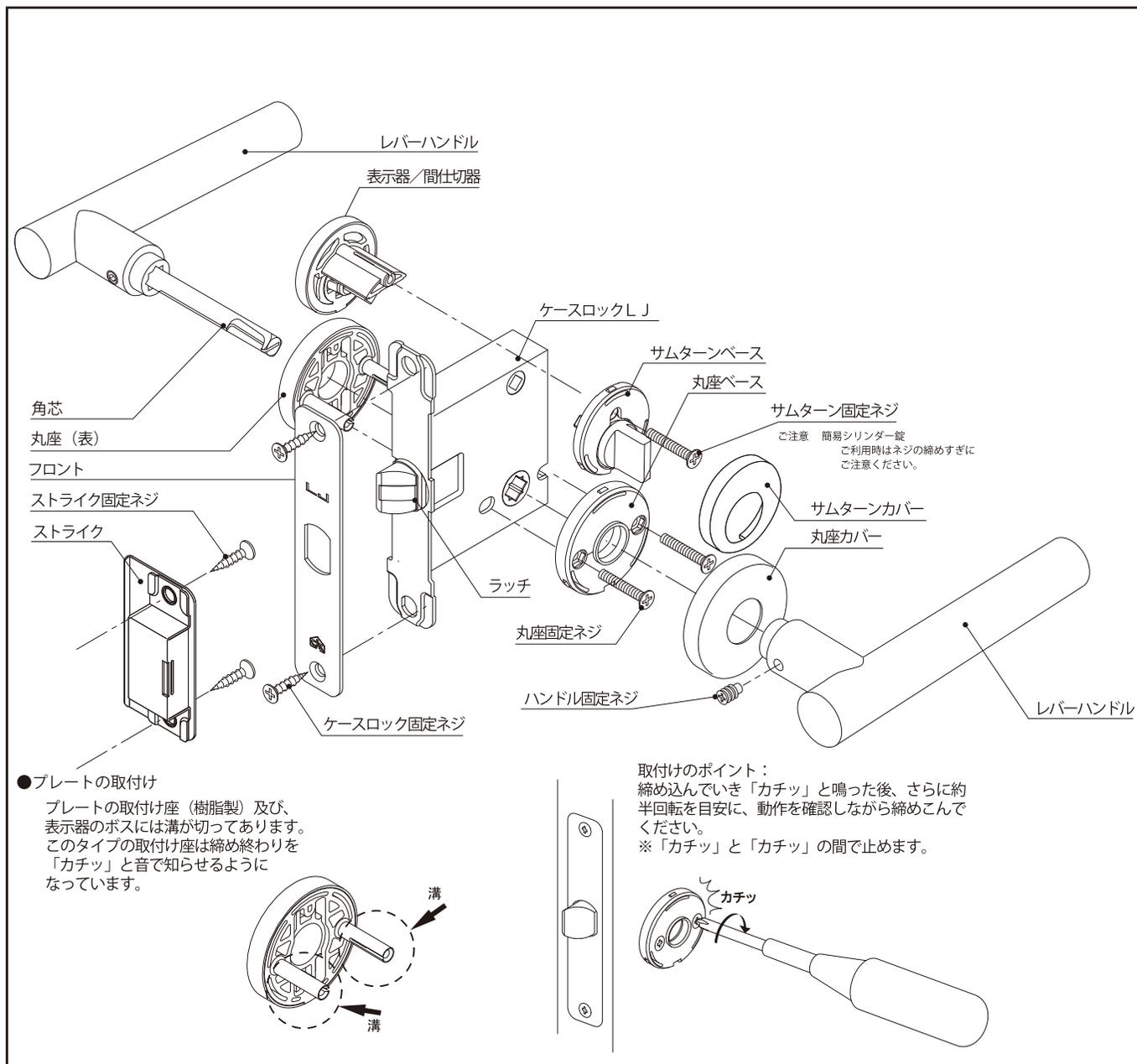
こちらのストライクは使用しません。



※調整受座が標準になっています。  
Kwiksetに同封されているストライクは使用しません。

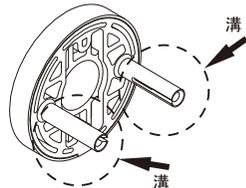
## LJケースロック (丸座C3-V1・T2用)

## ●レバーハンドル・セット内容と各部の名称



## ●プレートの取付け

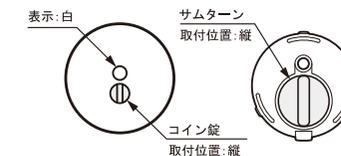
プレートの取付け座 (樹脂製) 及び、表示器のボスには溝が切っております。このタイプの取付け座は締め終わりを「カチッ」と音で知らせるようになっております。



## 取付前の調整

## 表示・サムターン取付位置

ケースのラッチが開錠状態 (ラッチが引込む状態) のときにサムターン、コイン錠は最初に本図位置の状態でご設置ください。  
※取付け後に正常に機能しなくなる恐れがあります。



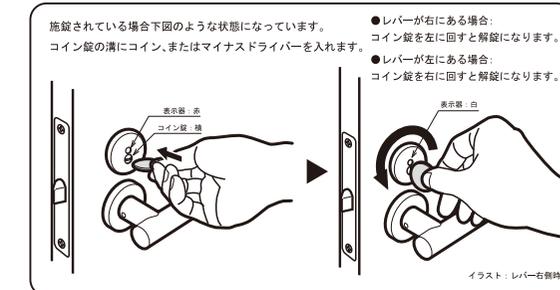
## 商品について

- 弊社ハンドルシリーズは、すべて室内専用です。
- 弊社ハンドルシリーズは、セット販売が基本です。他社パーツとの組合せによる不具合には責任を負いかねますのでご了承ください。
- ハンドル等に付いている養生シートは工事終了まで外さないでください。
- レバーハンドルのメンテナンスは、やわらかい布などで拭くことを定期的に行ってください。汚れがひどい場合、水または中性洗剤を水で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼり拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は使用しないでください。

## ⚠ 安全に関するご注意

- 取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- 施工が不完全な場合がタツキ・はずれ等によりケガをするおそれがあります。
- 商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
- 用途以外のご使用はしないでください。はずれ等によりケガをするおそれがあります。
- 屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
- 部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。
- 必要以上の荷重をかけますと部品等がはずれ、ケガなどの原因になりますのでご注意ください。

## 表示器側からの解錠の手順 (緊急時) ※室内側から錠が掛かってしまった場合。



# LDD-S ラウンドダンパー (面付けタイプ) 取扱説明書

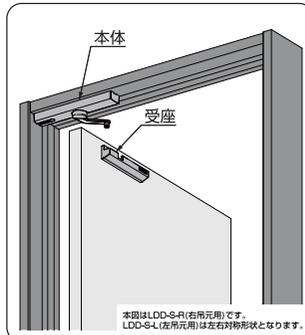


このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
取り付け前に本説明書をよくお読みの上、正しく施工いただきますようお願いいたします。お読みになった後、本説明書はお使いいただける方がいつでも見られる場所に保管してください。

- ・本説明書の製品内容は、部品としての品質範囲です。本製品を使用した最終製品の機能・性能・安全性を保証するものではありません。
- ・製品については完全を期しておりますが、万一不良品があった場合、ご購入先へお問い合わせください。
- ・保証期間は、弊社製品発行日から1年以内とさせていただきます。良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。
- ・製品改良などにより、予告なく寸法、材料などの仕様変更をおこなう場合があります。急のため現品にてご確認ください。

## 注意

- ・本製品は屋内用です。直接雨や雪がかかる場所での使用はおやめください。
- ・本製品は指踏み防止のための製品ではありません。ドアと枠の間に指などを入れますと怪我をしますのでおやめください。
- ・インパクトドライバーは使用しないでください。故障及び破損の原因となります。
- ・強風下ではダンパー効率が低下しますので、強風下での使用はおやめください。
- ・ご使用中にアームに物を掛けたり、ドアダンパーの取り付けや取り外し、調整をする際にアームに無理な負荷を掛けしないでください。アームが破損する原因となります。
- ・ドアを必要以上に強く閉めるなど、無理なドアの開閉はおやめください。故障の原因となります。
- ・ご使用になるヒンジやラッチによっては、動きが悪くなったり、ドアが開まりきらない場合があります。
- ・ご使用になる環境によっては、閉止速度やダンパー力が変化したり、ドアが開まりきらない場合があります。
- ・ご使用中も定期的な各ねじの緩みや脱落等がないか確認いただき、増し締めをおこなってください。
- ・各カラーの表面が汚れた時は、水をふくませたやわらかい布を固く絞り、汚れを軽く拭き取ってください。薬品等を使用しますと変色したり、割れたりしますのでおやめください。
- ・本製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。温度変化によりドアの閉止速度が変化しますが、故障ではありません。

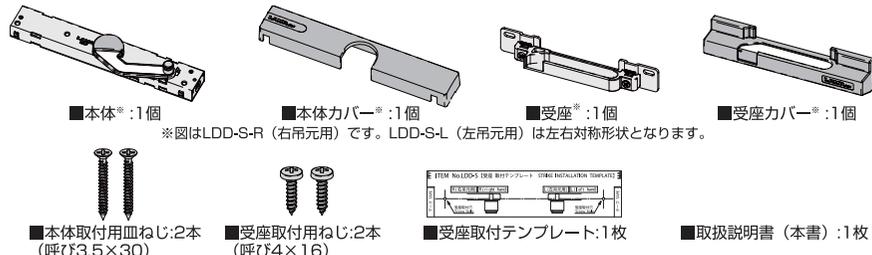


本製品はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L(左吊元用)は左右対称形状となります。

## 特長

- ・本製品は面付けタイプの開き戸用ドアダンパーです。
- ・ダンパー機能により、ドアの「ボタン」という衝撃音をやわらげ、閉じ際からゆっくりと閉まります。
- ・戸当りとたて枠にピッタリ密着して取り付けるだけの簡単取り付けです。(上枠の幅によっては、たて枠から離して取り付けいただく場合がございます)
- ・ドアの閉止力調整機能付きです。
- ・受座は上下、左右位置調整機能付きです。

## 製品内容

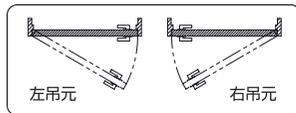


※図はLDD-S-R (右吊元用)です。LDD-S-L (左吊元用)は左右対称形状となります。

## 取り付け前の確認

### ■ ドア吊元方向の確認

- ・ドアを引いて開く側からみて、右側に吊元がある。⇒LDD-S-R (右吊元用) をご使用ください。
- ・ドアを引いて開く側からみて、左側に吊元がある。⇒LDD-S-L (左吊元用) をご使用ください。



### ■ 戸当りと上枠寸法の確認 (使用可能な範囲)

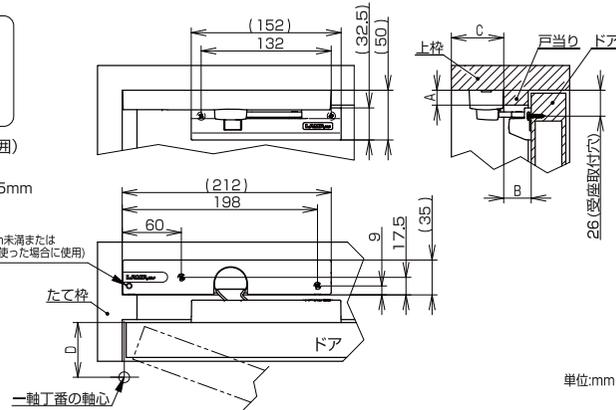
- A 戸当り高さ: 15mm以下
- B ドア裏面から戸当り端面まで: 23mm～35mm (戸当り+パッキン厚)
- C 上枠取付幅: 20mm以上

### ■ 適応ドア仕様

- ・ドア質量: 15kg～40kg
- ・ドア幅: 900mm以下

### ■ 吊元丁番

- ・一輪丁番 (D寸法が60mm以下)
- ・隠し丁番
- ・ピボット丁番 (中心回りのピボット丁番は使用不可)

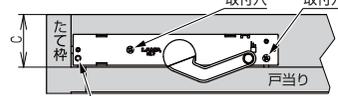


単位:mm

※上記寸法以外の取り付けに関しては、弊社までお問い合わせください。 LDD-S-R 取付図(LDD-S-Lは左右対称となります)

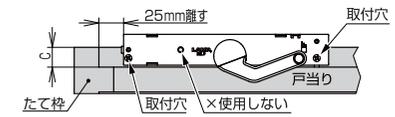
上枠取付幅(C寸法)および使用丁番による本体の取付位置 ※図はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L (左吊元用)は左右対称となります。

### ■ C寸法が25mm以上の場合



- ・本体を吊元側のたて枠と戸当りに突き当て、指定の取付穴にて取り付けてください。

### ■ C寸法が20mm以下25mm未満またはピボット丁番を使用の場合



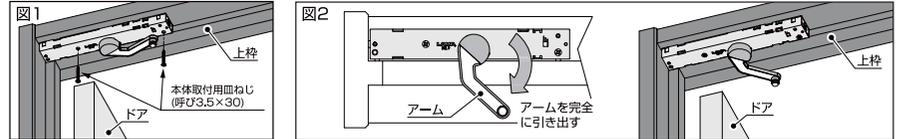
- ・本体を戸当りに突き当てた状態で、吊元側のたて枠から25mm離し、指定の取付穴にて取り付けてください。

## 取付手順

※図はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L (左吊元用)は左右対称となります。

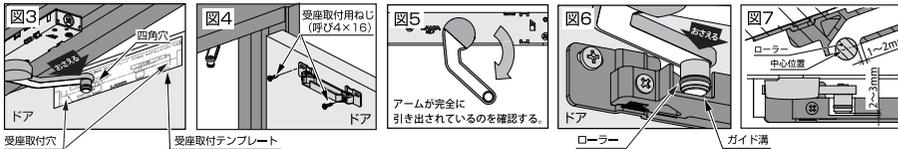
※本製品の取り付けは、ドアや枠の建て付け調整後におこなってください。

### 1. 本体の取り付け



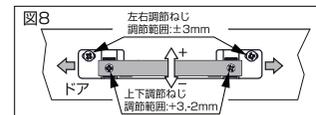
- ①「上枠取付幅による本体の取付位置」に従い、付属の本体取付用皿ねじ(呼び3.5×30) 2本で上枠に取り付けます。上枠取付幅が狭い場合は、下穴をあけて割れ対策をしてください。(図1)
- ②アームを図2の矢印の方向に完全に引き出します。この時、アームの上下方向に力を加えないで下さい。破損の原因となります。(アームが図1の状態ではドアダンパーは機能しません)

### 2. 受座の取り付け



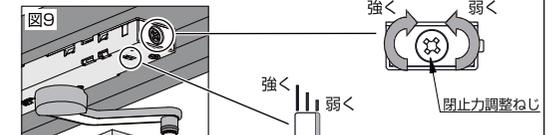
- ①アームが引き出した位置からずれないように、アームをおさながらドアをゆっくりと閉め、アームの先端と付属の受座取付テンプレートの四角穴をあわせてください。(図3)
- ②ドアの上端面と受座取付テンプレートが平行になるよう調整し、受座取付テンプレートの2箇所(2箇所)の取付穴に印を付けてから下穴をあけてください。その際、受座取付テンプレートをマスキングテープ等で仮固定すると作業が容易に行えます。
- ③受座を付属の受座取付用皿ねじ(呼び4×16) 2本でドアに取り付けます。(図4)
- ④アームが完全に引き出されているのを確認し(図5)、アームがずれないようにおさながらドアをゆっくりと閉め、アームのローラーが受座のガイド溝に入るかどうかご確認ください。(図6)
- ⑤ローラーとガイド溝とのすき間が図7の範囲に入っていない場合は、受座の上下・左右位置調整を行ってください。その際アームがずれないように注意してください。(詳細は、「3.受座の調整」をご参照ください)
- ⑥ドアをゆっくりと開閉し、正常に作動することをご確認ください。正常に作動しない場合は再度、受座の位置調整を行ってください。

### 3. 受座の調整



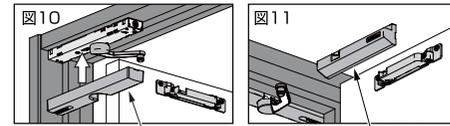
- ①ローラーが受座のガイド溝に入らない場合 ⇒受座の上下・左右調整を行ってください。
- ②ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合 ⇒受座の左右調整で吊元方向に移動して下さい。

### 4. 閉止力の調整



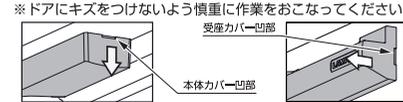
- ①閉止力が弱い場合 (ドアが開まりきらない場合等) ⇒本体の閉止力調整ねじで閉止力を調整してください。 ※ご使用になるヒンジやラッチによっては、調整してもドアが開まりきらない場合があります。

### 5. カバーの取り付け



- ①ドアを開いた状態で、本体カバー、受座カバーを取り付けます。

- カバーの取り外し方法 (本体カバー、受座カバー) ドアを開けた状態で、カバーの凹部にマイナスドライバー等を差し込み、矢印の方向に引き出してください。反対側はつまんで両側均等に少しずつ取り出してください。
- ※ドアにキズをつけないよう慎重に作業をおこなってください。



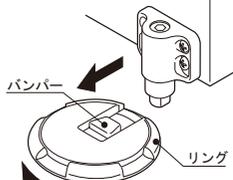
# AC-774/784 ドアキャッチャー施工・取付説明書

(本説明書は取付後も破棄せず、ワックスカバーと共にご使用者にお渡しください。)

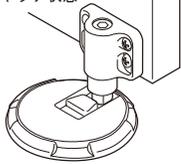
設置条件：床と扉下部の隙間が10～20mmまでの対応。

## 特徴・動作 (AC774)

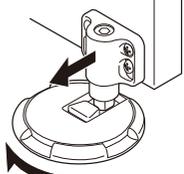
① 扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しキャッチ状態になります。



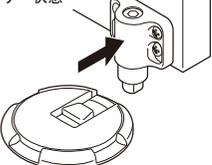
② キャッチ状態



③ もう一度扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しフリー状態になります。



④ フリー状態



※扉がしなって押しづらい時は足で軽く押しと楽に作動させることができます。

△注意 ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で押し付けるようにご使用ください。

## ①取付けの位置決め



本体を取付ける位置は、ストライクが扉の端から10～100mmの間の位置にくるように設置してください。また、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。



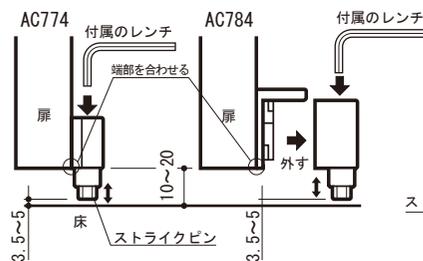
△取付位置注意 ドアキャッチャーをヒンジ側方向に取付けたり、壁際ギリギリの位置などに取付けますと扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがありますので扉との余裕を見て検証しながら位置を決めてください。

## ②ストライクの取付け

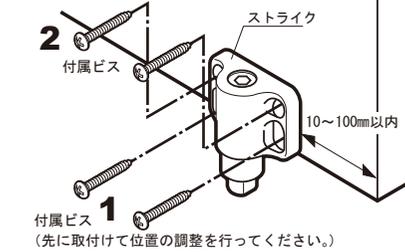
取付位置が決まりましたら、ストライクの下端部を扉の端面に合わせての下端の長穴からビスを取付け、平行を出した後上段のビスを取付けてください。(AC784の場合は、ベースからマイナスドライバー等でロックを解除し、ストライク部を外してから取付けてください。)

### ストライクの調整について

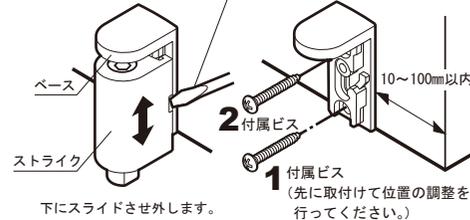
ストライク上部の穴に付属の六角レンチを差し込んで時計回りに押し回しますと、ストライクピンを下方へ出すことができます。床からの高さを3.5～5mmに調整してください。(AC784の場合はレンチで調整後、ベースに取付けてください。)



### AC774の取付け



### AC784の取付け



### △ ストライクピンの向き

ストライクピンは縦方向にセットします。横方向に取付けると、扉をキャッチした際に遊びが大きくなります。(横方向の平面はレンチなどで高さ調整する為のものです。)



### △ 注意

ストライクは垂直に取付けてください。

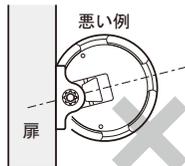
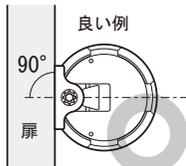


## ③本体の取付け

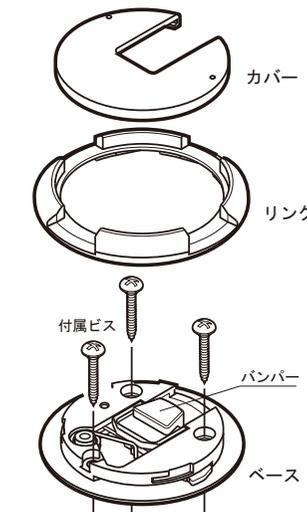
ストライクの付いた扉を動かし、ストライク下部の突起がベースのバンパーに当たる位置で、取付け位置を決め、ベースをビスにて取付けます。

次にリングをはめ、カバーを(図1)に従ってはめてください。※厚み1.1mm以上の直貼り床材使用の際は直にビス止めしてください。※直貼り厚み1.1mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。(裏面参照) ※カーペット敷きには専用(別売)のカーペットベースをご使用ください。

△注意 本体は扉に垂直に取付けてください。

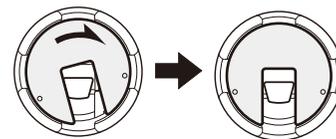


△注意 フローリングの継ぎ目は踏まないよう、取付けてください。止むをえずフローリングの継ぎ目を踏んで取付ける場合は取付けビスを半回転くらい緩めて調整してください。(緩ませすぎにご注意ください。)



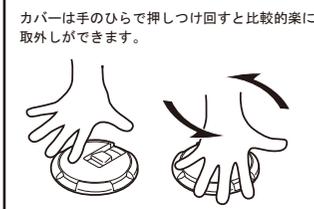
△注意 電動ドライバーを使用する場合は最後まで締めこまず、手動ドライバーにて軽く締めてください。

### カバーの取付け方



カバーは図の位置に置き、手のひら等で右に回転させ完了します。外す場合はこの逆の操作を行ってください。

図1



## ④取付後の確認と養生

取付けが完了しましたら必ず動作確認を行ってください。

△注意 取付け完了後、リングが軽く回るか確認してください。軽く回らない場合は付属ビスを半回転緩めると、改善出来ます。(緩ませすぎに注意)

△注意 確認が終わりましたら付属のワックスカバーを本体にかぶせて養生してください。



※正常に作動しない場合、裏面を参照の上対処してください。

# マグネットドアストッパー スタンダードタイプ(PH-TMG20)

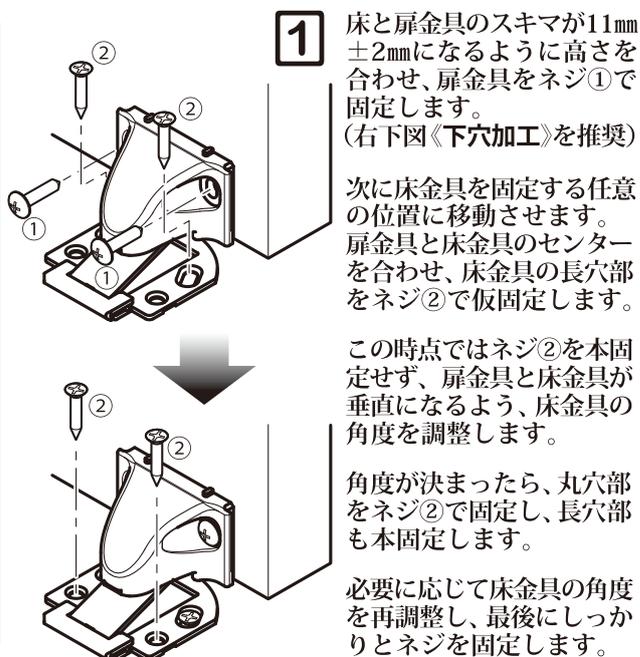
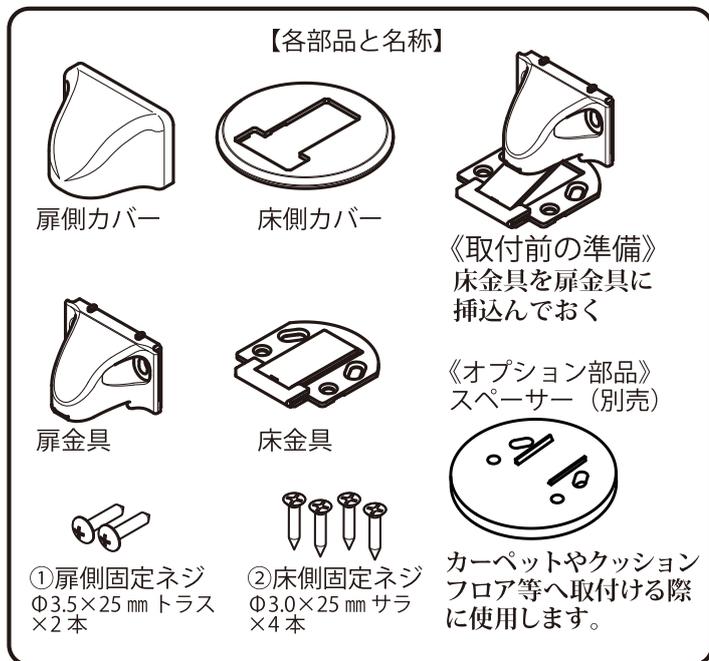
## 取付施工手順書

### ▲ 金具取付時のご注意・・・必ずお読みください

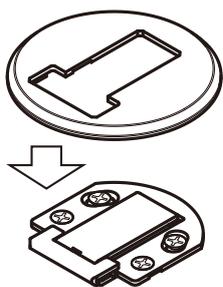
【カーペット上取付禁止】床金具をカーペット上に取付けないでください。取付面が不安定なため誤動作の原因となります。

【取付位置】戸先から100mm以内（吊元側への取付厳禁）

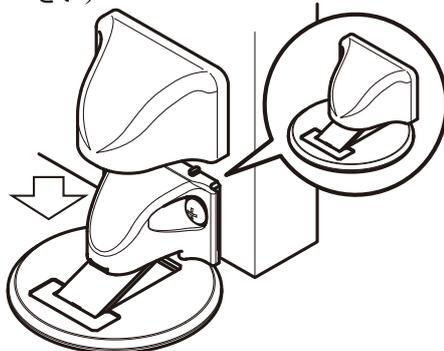
【手動ドライバー推奨】電動ドライバーをご使用の場合、ネジを締め切らず、最後に手動ドライバーで締め付けてください。



2 床金具に床側カバーを被せます。(パチンと感触があるまで、しっかり押さえつけてください)

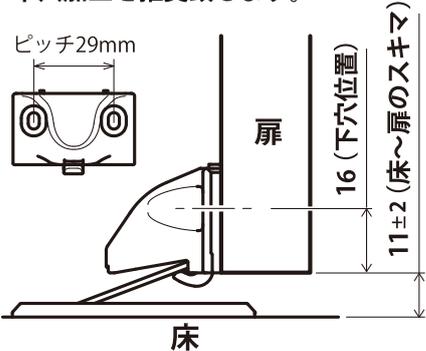


3 扉金具に扉側カバーをしっかりとかぶせて取付完了です。(パチンと感触があるまで、しっかり押し込んでください)



### 《下穴加工》

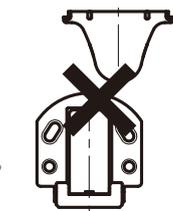
扉金具を取付ける際には、ネジ用下穴加工を推奨致します。



### NG 施工例

右図のような施工は、扉や床、製品自体に破損が生じる原因となりますので、ご注意ください。

※吊元側には絶対に取り付けないでください。装置や周囲部材の、破損につながります。

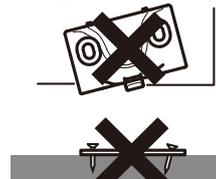


扉金具と床金具のセンターがずれている。



扉金具と床金具が垂直になっていない。

扉金具が傾いている



床金具の固定ネジが金具面から突出していたり、傾いていると、床カバーをかぶせることができません



扉位置が適正範囲から外れている

床金具が傾いていたり、床に沈み込んでいる。

### 【使用上のご注意】

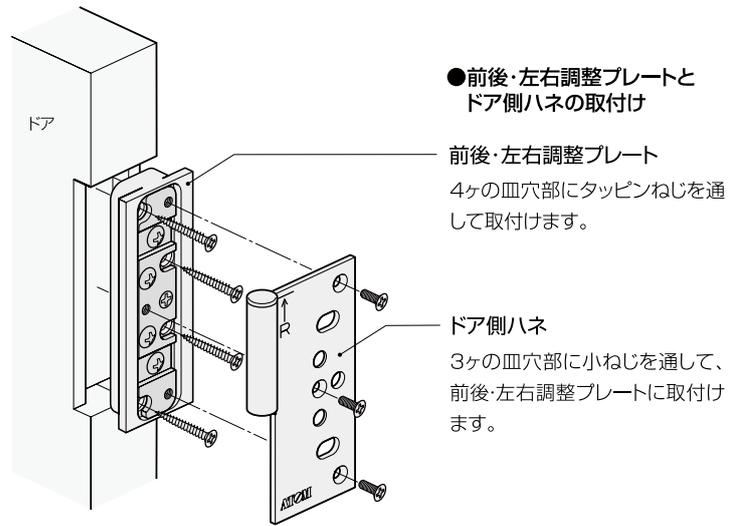
- 設定範囲内に取付けてください。範囲外ではキャッチ機能が正常に働かなくなります。
- 扉に後付する製品ですので、扉金具が扉面より突出しております。開閉時やご通行時には十分御注意ください。
- 上記要因や、お客様の誤操作・施工不良によって生じた損害に対し、一切の責任を負わないものと致します。

# 3方向調整丁番

## 施工ガイド

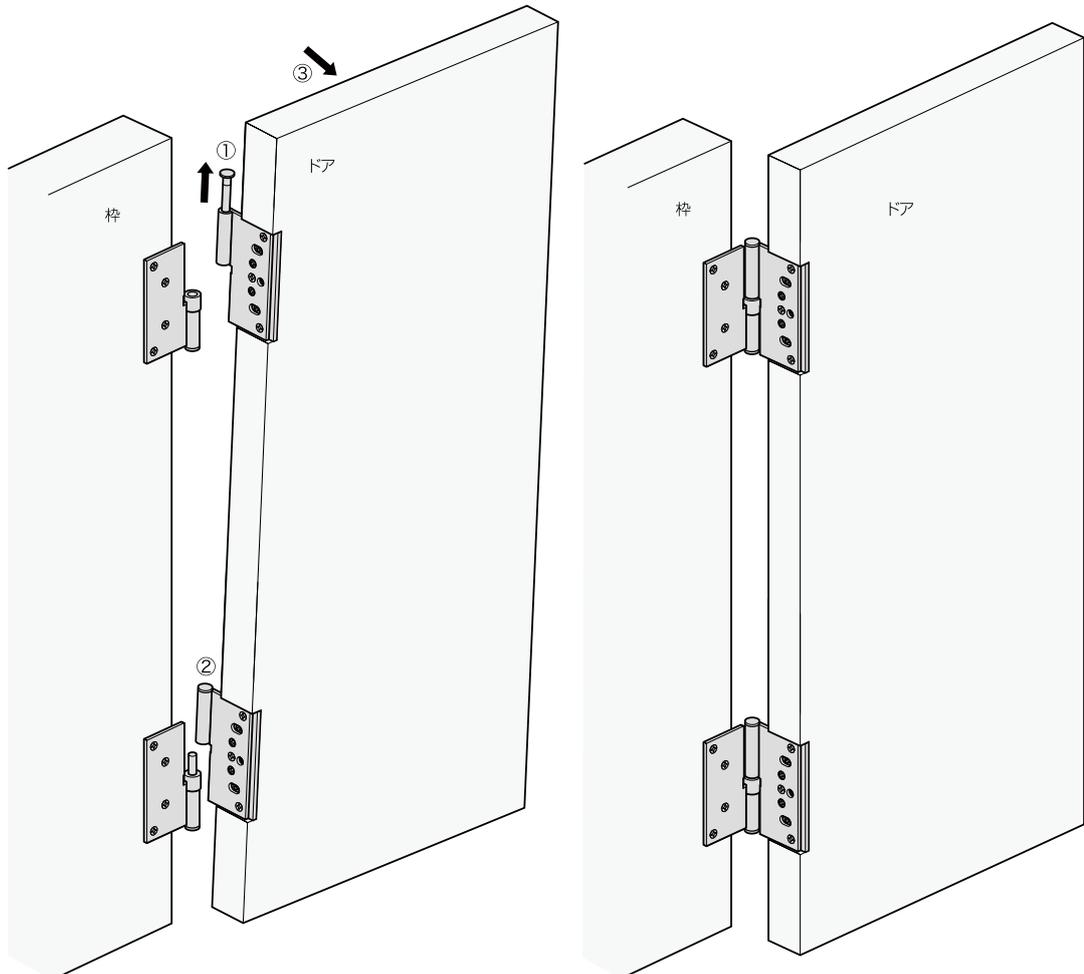
### ■金具の取付け方法

- ① ドアの加工部に前後・左右調整プレートを取付けます。
- ② ドア側ハネを前後・左右調整プレートに取付けます。
- ③ 縦枠に枠側ハネを取付けます。



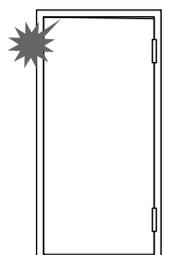
### ■吊込み手順

- ① 上用丁番の軸心棒を引き出します。
- ② ドアが上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら、下用丁番から差し込みます。
- ③ ドアをまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸心棒を上げて上用丁番の結合を行います。
- ④ 最後に建付けと軸芯カバーの調整をして完了です。



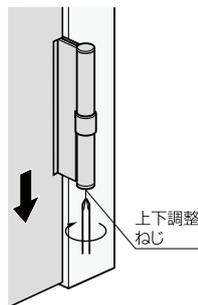
上下調整方法

ドアの上部が枠に当たる

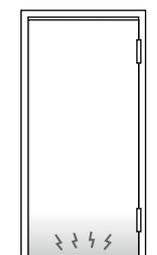


上下調整ねじを左に回すと、ドアが下がります。最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじを左に回すと、ドアは下がります。

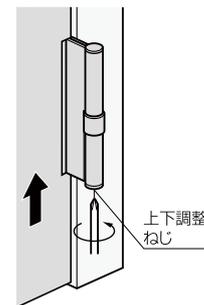


ドアの下部が床をこする



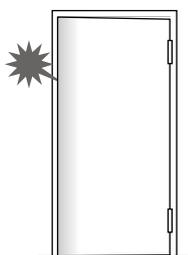
上下調整ねじを右に回すと、ドアが上がります。最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじを右に回すと、ドアは上がります。



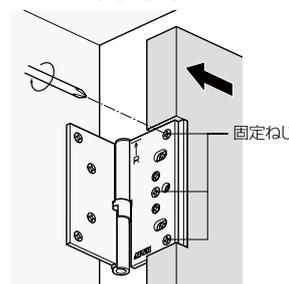
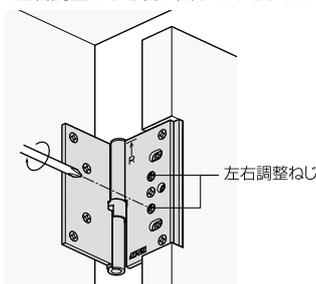
左右調整方法

ドアの開き側が枠に当たる

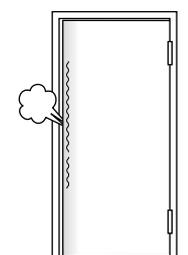


左右調整ねじを右に回すと、ドアが吊元側に寄っていきます。最大 2.5mm

①ドアを移動させたい分量まで、左右調整ねじを右に回しておきます。 ドアは吊元側に移動します。

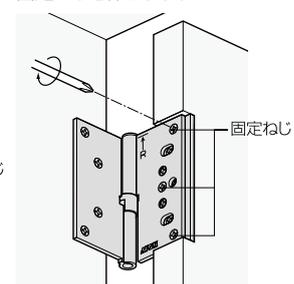
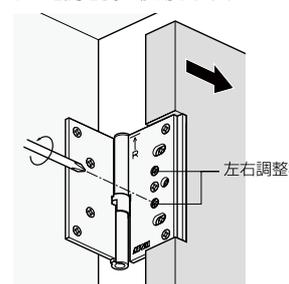
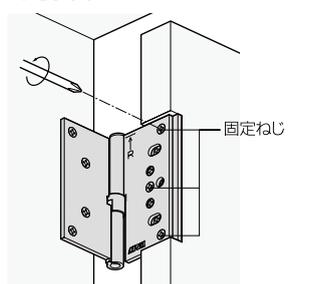


ドアの開き側のすきまが大き過ぎる



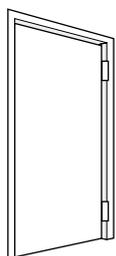
左右調整ねじを左に回すと、ドアが開き側に寄っていきます。最大 2.5mm

①ドア側ハネの固定ねじを緩めておきます。 ②左右調整ねじを左に回して、ドアを開き側に移動します。 ③位置が決まったら、緩めておいた固定ねじを締めます。



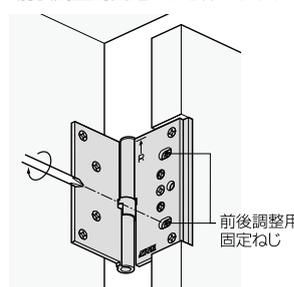
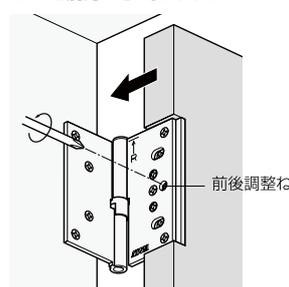
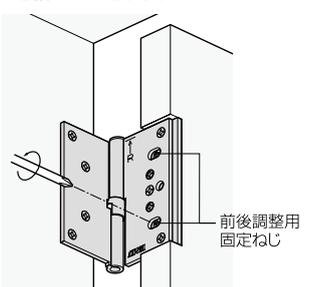
前後調整方法

ドアが後に下がり過ぎている

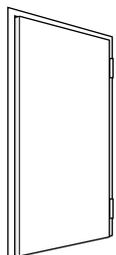


前後調整ねじを左に回すと、ドアが前方向に寄っていきます。最大 3mm

①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。 ②前後調整ねじを左に回して、ドアを前方向に移動します。 ③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。

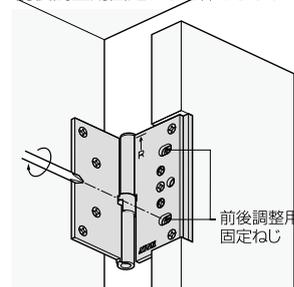
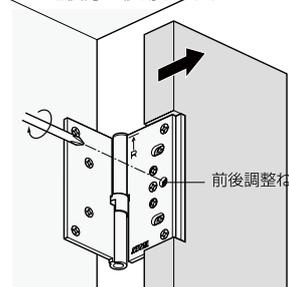
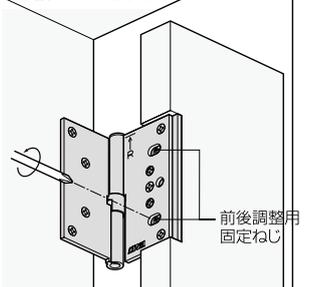


ドアが前に出過ぎている



前後調整ねじを右に回すと、ドアが後方向に寄っていきます。最大 1mm

①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。 ②前後調整ねじを右に回して、ドアを後方向に移動します。 ③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。

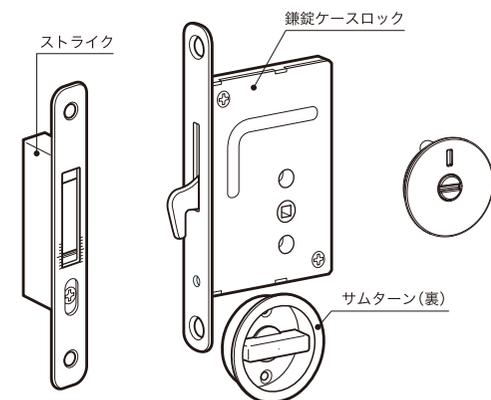


## KM-17

当製品は、扉厚対応を角芯とネジ長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください  
※対応扉厚 28~42mm

## 鎌錠・セット内容と各部の名称

KM-17



★こちらをご使用ください。

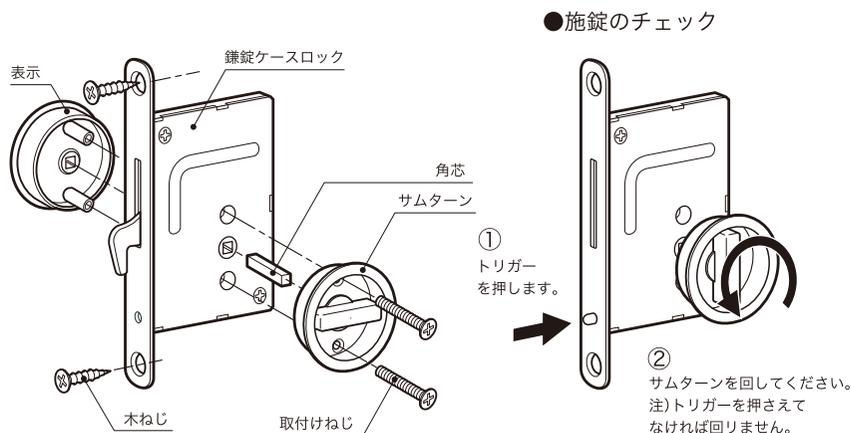
角芯-短・長を使うと可動しなかったり、破損する恐れがあります。



木ねじ

取付けねじ(短)  
(扉厚 28~36mm用)取付けねじ(長)  
(扉厚 36~42mm用)

こちらは使用しません。



## ●施錠のチェック

①  
トリガー  
を押します。

②  
サムターンを  
回してください。  
注)トリガーを押さえて  
なければ回りません。

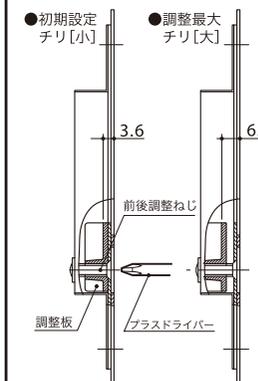
## ▲ネジの締めすぎ注意

扉が割れたり、ケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。  
※動作確認をしながら行ってください。

## ストライクの調整方法

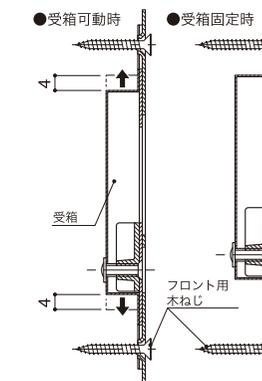
## 1. 前後調整

前後調整ネジをプラスドライバーで回し、隙間を調整します。

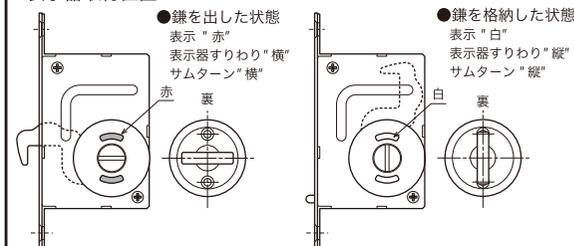


## 2. 上下調整

フロント用木ねじを一旦緩め、受箱を上下に動かし調整します。位置が決まったら、フロント用木ねじを締めて固定します。



## 表示器取付位置



## ▲注意

- 取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- 商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
- 屋外など水がかかったり湿度が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。

## メンテナンスについて

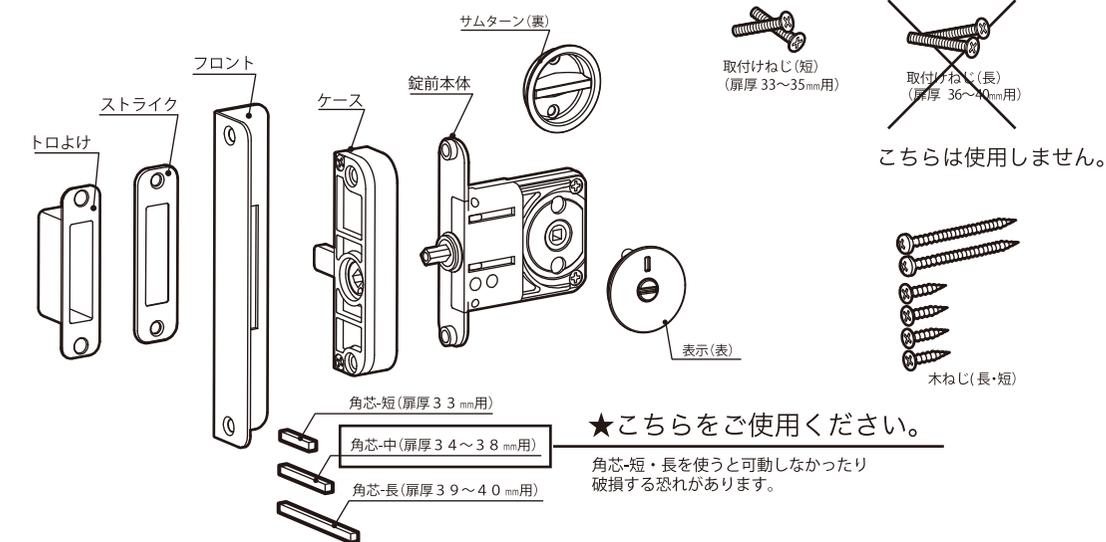
- 定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。(必要以上に強くこすらないでください。キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を水で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は表面を痛めますので絶対に使用しないでください。※上記成分の含まれる除菌シート等もご使用にならないでください。

# KY-17

当製品は、扉厚対応を角芯とネジ長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください

## アウトセット引戸錠・セット内容と各部の名称

KY-17

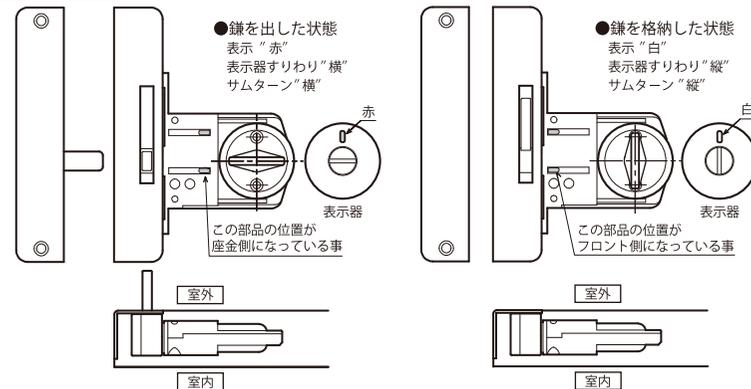


★こちらをご使用ください。

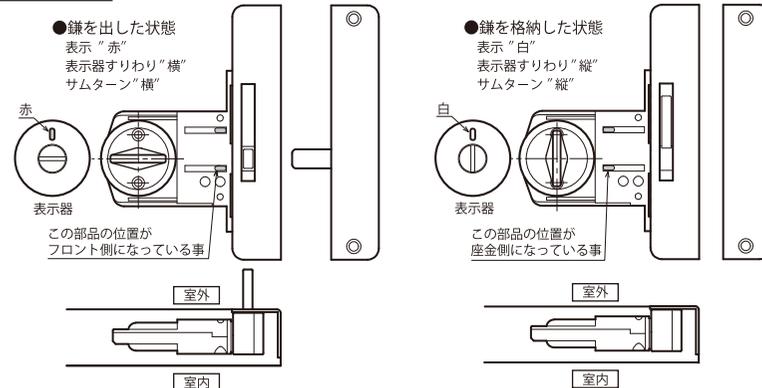
角芯-短・長を使うと可動しなかったり破損する恐れがあります。

表示器取付位置 ※デッドボルト向き(室内・室外)は、扉側と枠側の切欠き向きにより逆勝手対応可能

### 左勝手扉の場合



### 右勝手扉の場合

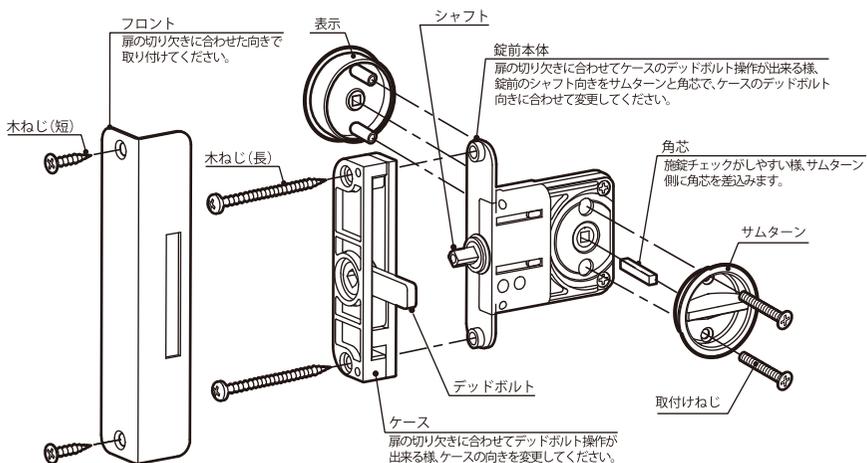


### △ 注意

- 取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- 施錠状態(デッドボルトが出た状態)のまま扉を開めないでください。デッドボルトが枠に当たって 枠や製品が破損する恐れがあります。
- 商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
- 屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損し やすくなりケガをするおそれがあります。

### メンテナンスについて

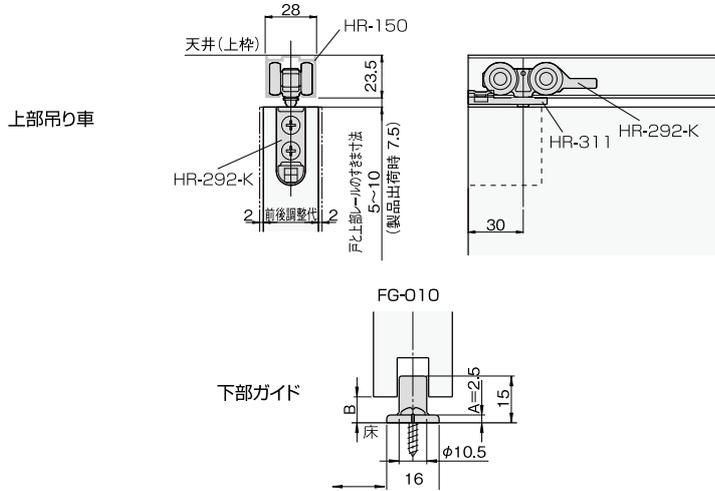
- 定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。(必要以上に強くこすらないでください。キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を水で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は表面を痛めますので絶対に使用しないでください。※上記成分の含まれる除菌シート等もご使用にならないでください。



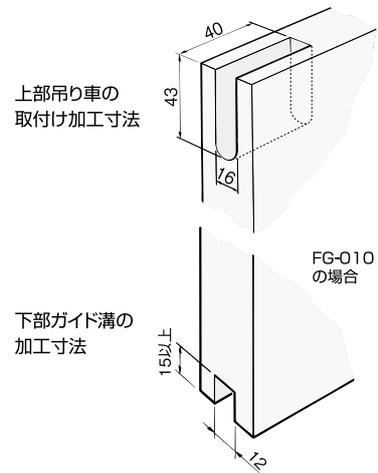
# HR SYSTEM 上部吊り車 HR292-K

## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図



### ■戸の加工寸法参考図

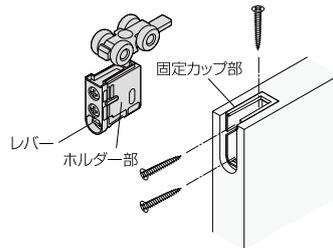


## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

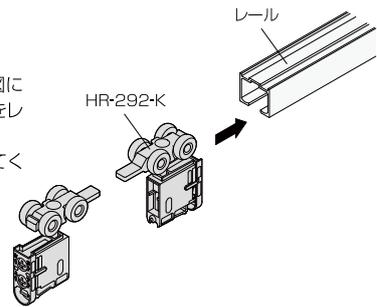
#### 1. 上部吊り車の取付け

- ① 上部吊り車は、ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



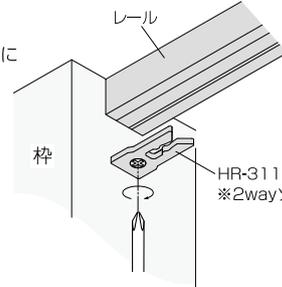
#### 2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
- ② 上枠にレールを取付けてください。



#### 3. キャッチの取付け

- ① キャッチは、レールを取付けた後に装着する事ができます。



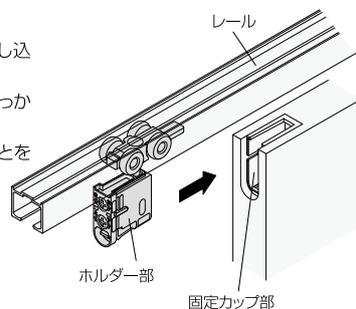
#### 4. 下部ガイドの取付け

- ① 下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

※2wayソフトクローズ仕様の場合は不使用。

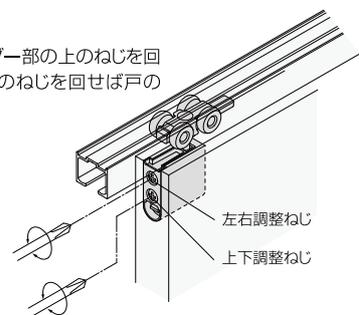
### ■戸の吊込み

- ① 下部ガイドに戸のガイド溝を差し込みます。
  - ② 固定カップ部に、ホルダー部をしっかりと差し込みます。
- ※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



### ■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の左右調整、下のねじを回せば戸の上下調整ができます。



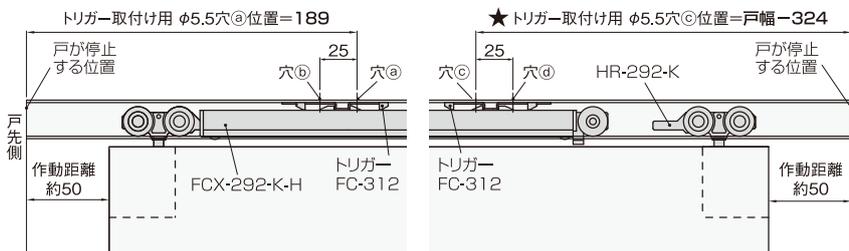
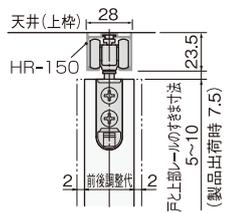
ユーロトレンドドア・ACEドアはドア本体に上部吊り車の固定カップが取付済みですが、gpドアは固定カップが上部吊り車に装着した状態でのお届けとなります。取り外して、ドア本体への取付をお願い致します。

# HR SYSTEM 2WAYソフトクローズ FCX-292-K-H

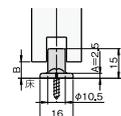
## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図

上部吊り車



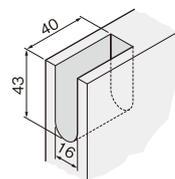
下部ガイド



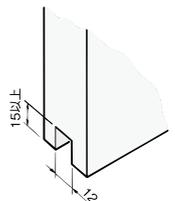
★ サイズ呼称	ドア幅	トリガー取り付け穴◎位置	トリガー取り付け穴◎位置
2068	610mm	286mm	261mm
2268	660mm	336mm	311mm
2468	711mm	387mm	362mm
2668	762mm	438mm	413mm
2868	813mm	489mm	464mm

### ■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法



下部ガイド溝の加工寸法

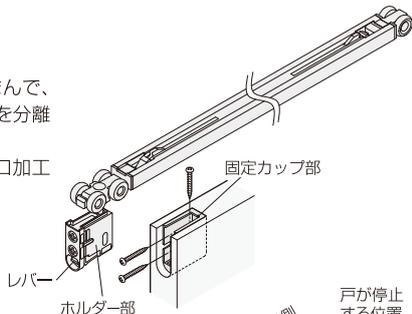


## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

#### 1. 上部吊り車の取付け

- ①ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。

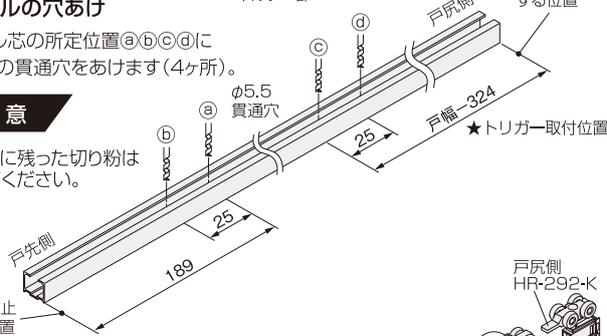


#### 2. レールの穴あけ

- ①レール芯の所定位置◎◎◎◎にφ5.5の貫通穴をあけます(4ヶ所)。

#### ご注意

レール内に残った切り粉は取除いてください。



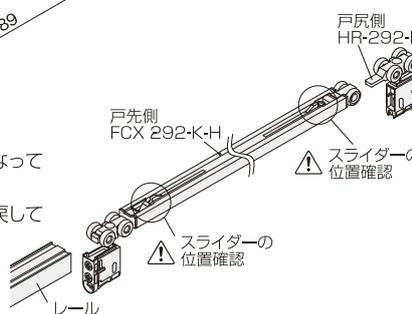
#### 3. レールの取付け

- ①スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押して戻しておきます。

#### ご注意

ソフトクローズを正しく動作させるために、必ず確認してください。

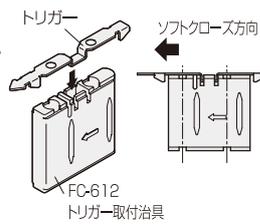
- ②レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③上枠にレールを取付けてください。



#### 4. トリガーの取付け

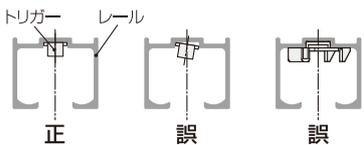
戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

- ①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ②「2.レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴◎]・[戸尻用の場合:穴◎]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。



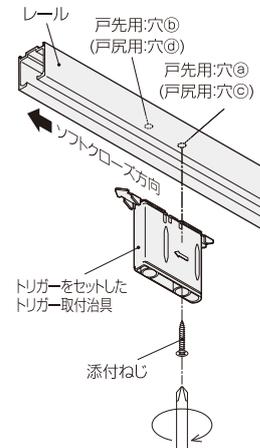
#### ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③完全に固定されたら、取付け治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴◎]・[戸尻用の場合:穴◎]をねじ止めしてください。

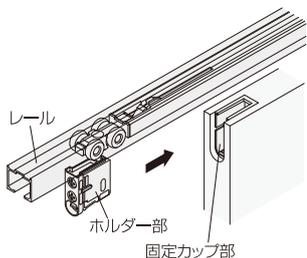


#### 5. 下部ガイドの取付け

- ①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

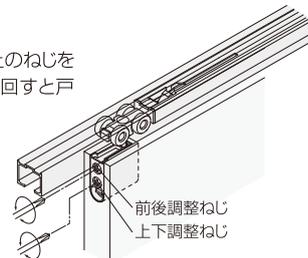
### ■戸の吊込み

- ①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
  - ②固定カップ部にホルダー部をしっかりと差込みます。
- ※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。



### ■戸の位置調整

- ①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。
- ※ソフトクローズの速度調整はできません。



# HR<sub>SYSTEM</sub> アウトセットHR-150-OS (単一レール)

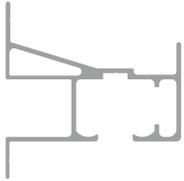
- HRシステムの吊り車を使用した、アウトセット上吊引戸システムです。
- 上部レールは単一なので、施工が簡単で、外観性にも配慮しています。

## ■金具の使用場所

### HR-150-OS

#### ●上部レール

※本レールは現場でのカットや穴加工を要しますので、あらかじめご了承ください。加工については、設計・施工ガイドをご覧ください。



### OS用トリガーねじセット

本レールにトリガーを取付ける際は、添付のパーティビスではなく、こちらのナットとねじを使用します。

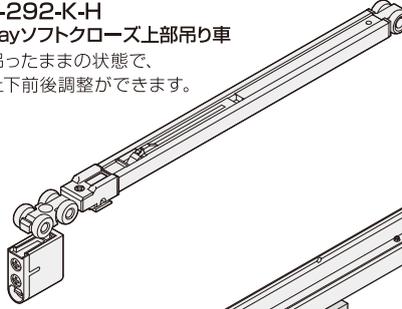


レール加工後は、必ずレール内を掃除してください。アルミの切り粉などが残ったまま使用すると、音鳴りや動作不良の原因となります。

### FCX-292-K-H

#### ●2wayソフトクローズ上部吊り車

戸を吊ったままの状態、戸の上下前後調整ができます。



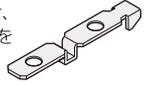
## ご注意

- 下記をお読みのうえ、正しくお使いください。
- 引戸をアウトセットで使用する際は、必ず本ページ掲載の部品構成にてご使用ください。他の部品を使用したり、構成部品に不足があると、戸の脱落や、システムの破損のおそれがあります。
  - 取付け壁面に下地があることを事前にご確認ください。下地がない場合は、補強板を設置してください。
  - 戸先と戸尻の上下に戸当りを取付けるスペースがあることをあらかじめご確認ください。

### FC-312

#### ●トリガー

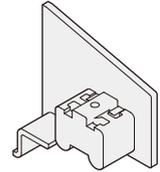
レール内に取付け、ソフトクローズを作動させます。



### HR-342

#### ●サイドカバー

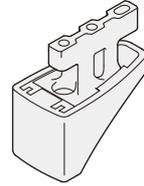
レールの端面を隠す化粧カバーです。左右勝手があります。



### FK-310

#### ●上部レール戸当り

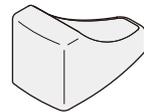
上部レールに穴加工をし、レール内に差し込んで固定します。必ず戸先と戸尻の両方に固定してください。



### FK-320

#### ●下部戸当り

床に固定します。必ず上部レール用戸当りと位置を合わせ、戸先と戸尻の両方に固定してください。



### FG-010

#### ●下部ガイド

調整幅



上下  
±2.5mm

前後  
±2mm

※前後調整付きの吊り車を使用する場合は、他の吊り車や下部ガイドも前後調整付きに統一してご使用ください。

## 施工ガイド

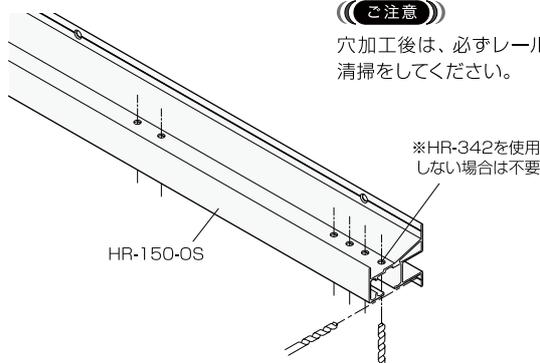
### ■金具の取付け方法

#### 1.レールの取付け

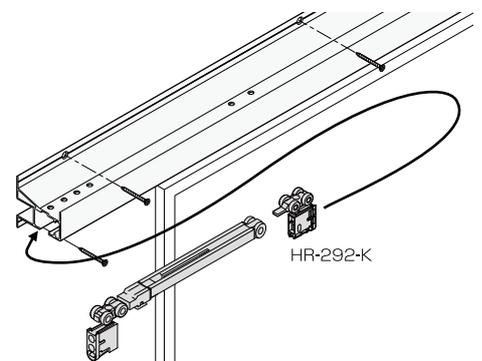
- ①レールの右側を任意長さでカット後、「設計ガイド」の加工寸法を参考に、レールの右側に穴加工をします。戸当りやトリガー用の穴は上部レールの内側から加工します。

#### （ご注意）

穴加工後は、必ずレール内の清掃をしてください。



- ②上部吊り車をレールに挿入し、レールを壁面に固定します。HR-342を使用する場合はこの時に取付けます。



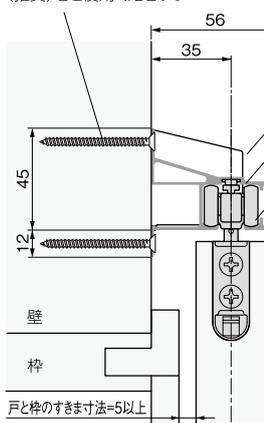
# アウトセットHR-150-OS (単一レール)

## 設計ガイド

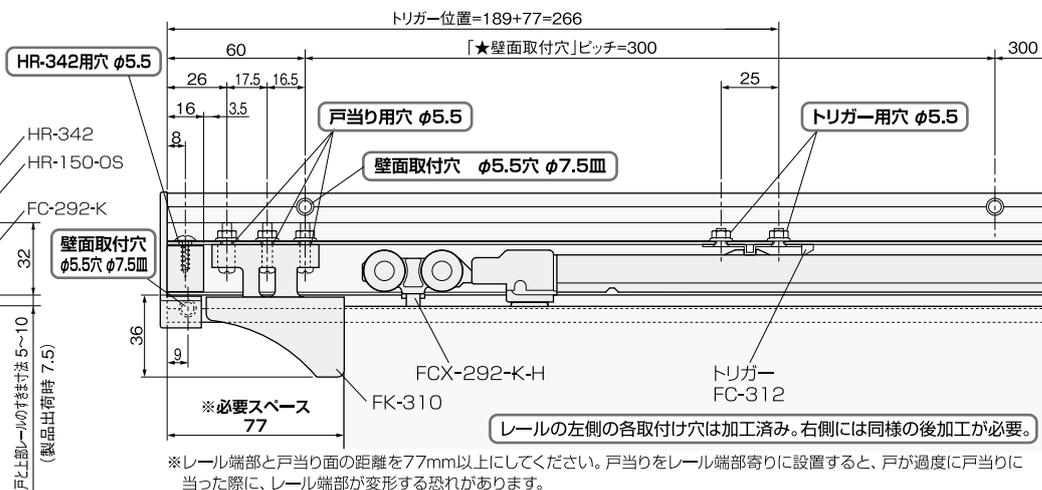
### ■金具の納まり参考図

#### 上部レールおよび吊り車

レール固定ねじは添付されておられません。別途皿タッピンねじ4×50(推奨)をご使用ください。



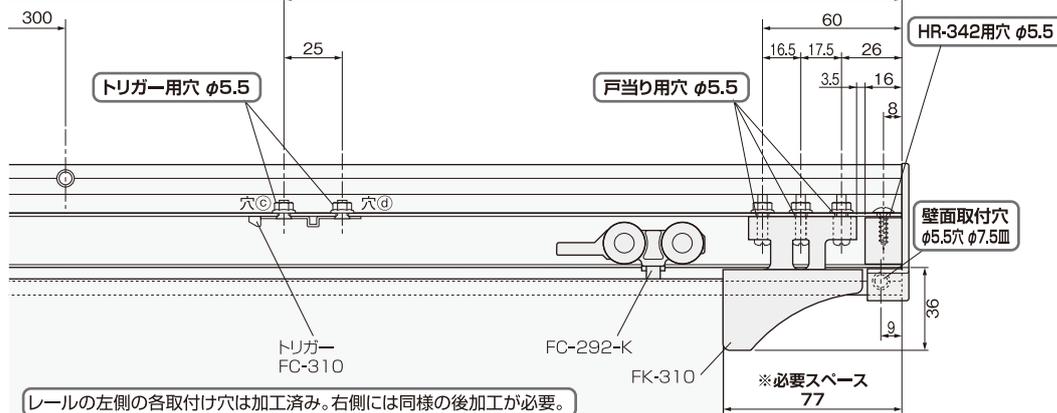
#### 【レール左側】



上部レール長さ=右側を任意長さでカット  
(最長2,400)

★DW-324+77

#### 【レール右側】



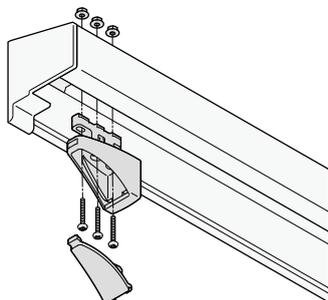
### （レール加工時のご注意）

- レールには左右勝手があります。正面から見て左側の取り付け穴を基準に施工しますので、レールをカットする場合は右側をカットしてください。
- 「★壁面取付穴」と左側の各取付け穴は加工済みです。右側の穴はすべて別途穴加工が必要となります。
- 図はレール左側の穴加工位置です。右側にも左右対称となる位置に同様の穴加工をしてください。
- 左端部から10mmと60mmの位置にある壁面取付穴は、右端部にはありませんので、レールカット後、同様の位置に穴加工をしてください。

★ サイズ呼称	ドア幅	トリガー取り付け穴◎位置	トリガー取り付け穴@位置
2068	610mm	363mm	338mm
2268	660mm	413mm	388mm
2468	711mm	464mm	439mm
2668	762mm	515mm	490mm
2868	813mm	566mm	541mm

## 2. 戸当りの取付けと戸の吊込み

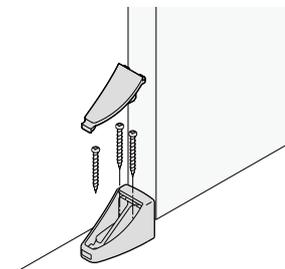
① 上部戸当りをレールに取付けます。



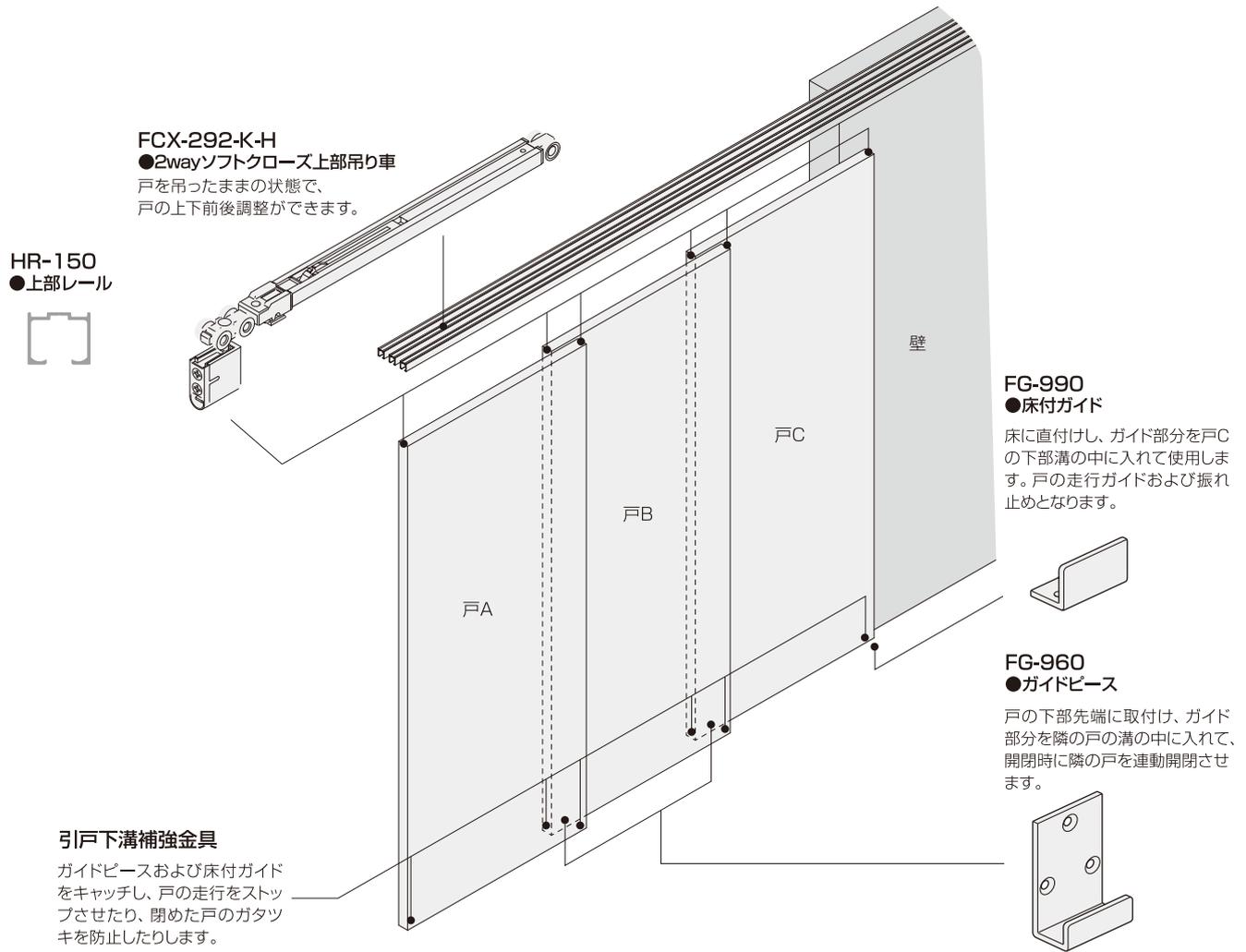
② トリガーと下部ガイドを取付け、戸を吊り込みます。

③ 戸の位置調整をし、ソフトクローズの初回動作を確認します。

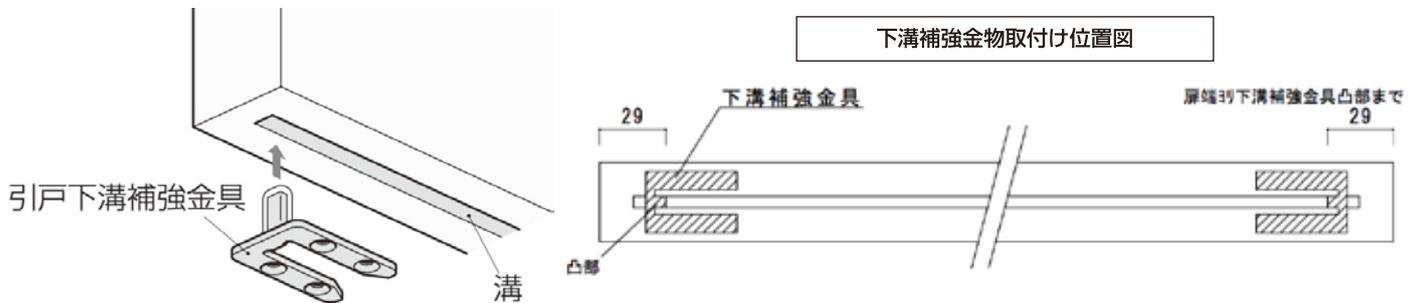
④ 下部戸当りを上部戸当りと位置を合わせ、床に取付けます。



## 2・3枚引き込みドア用金具取付



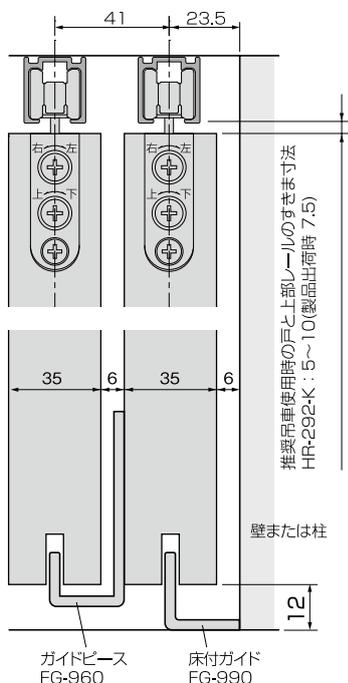
### ■戸下面の加工寸法参考図



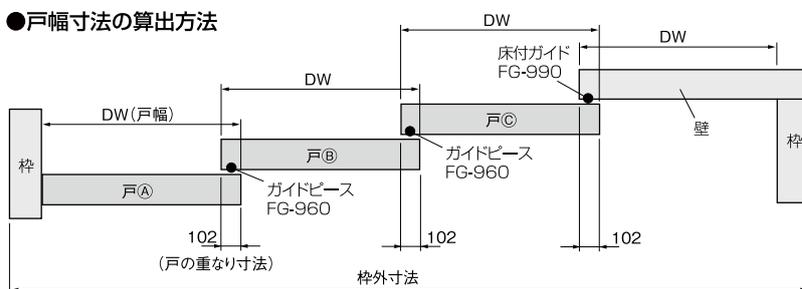
## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図

#### ●上下及び側面の納まり寸法



#### ●戸幅寸法の算出方法



- 2枚引き込みドア  
 枠外寸法=ドア幅×3-144mm  
 ドア幅=(枠外寸法+144mm) / 3
- 3枚引き込みドア  
 枠外寸法=ドア幅×4-246mm  
 ドア幅=(枠外寸法+246mm) / 4

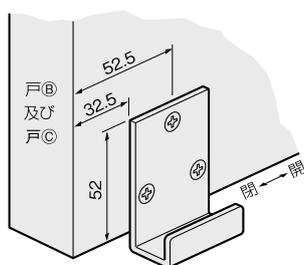
※ 戸の重なり寸法は、各ガイドがエンドクッションに入り込むために必要な寸法です。

#### 【ご注意】

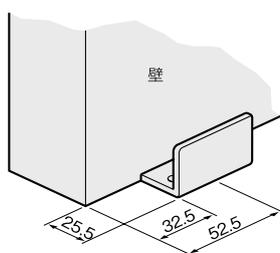
- 正常に引戸を運動させるために、床と戸のスキマは12mmになるようにしてください。
- 吊車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。また、FG-990が戸に接触しないようにしてください。
- 幅と高さの比率が約1:5を超えるような引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

### ■金具の取付け位置

- ガイドピースの取付け  
(戸Bと戸Cの閉じ側先端部)  
FG-960



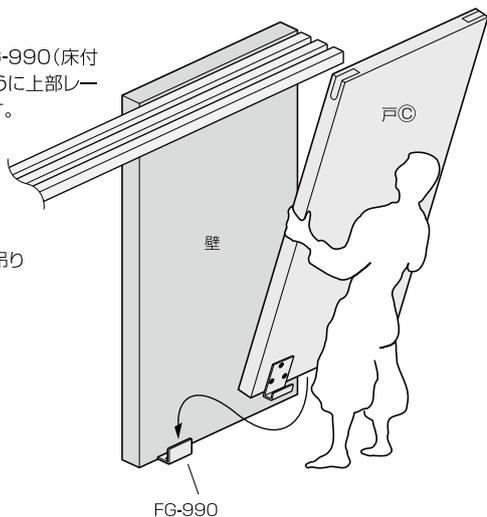
- 床付ガイドの取付け  
FC-990



## 施工ガイド

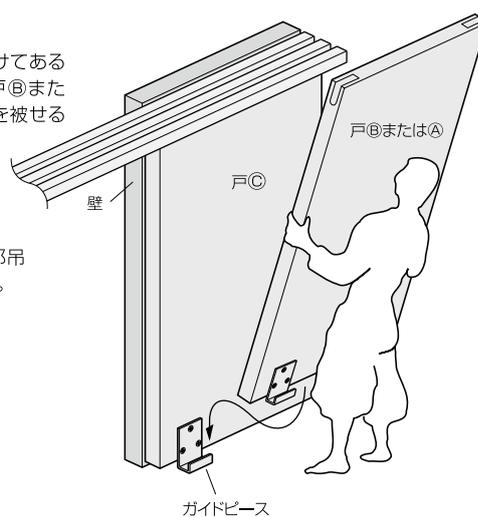
### ■戸の吊込み

- ①戸Cの下部溝をFG-990(床付ガイド)に被せるように上部レールの下に設置します。



- ②戸とレール内上部吊り車を接続します。

- ③戸C先端に取付けてあるガイドピースに戸Bまたは戸Aの下部溝を被せるように設置します。



- ④戸とレール内上部吊り車を接続します。

# 3枚引き違いドア用金具取付

## 振止ローラー

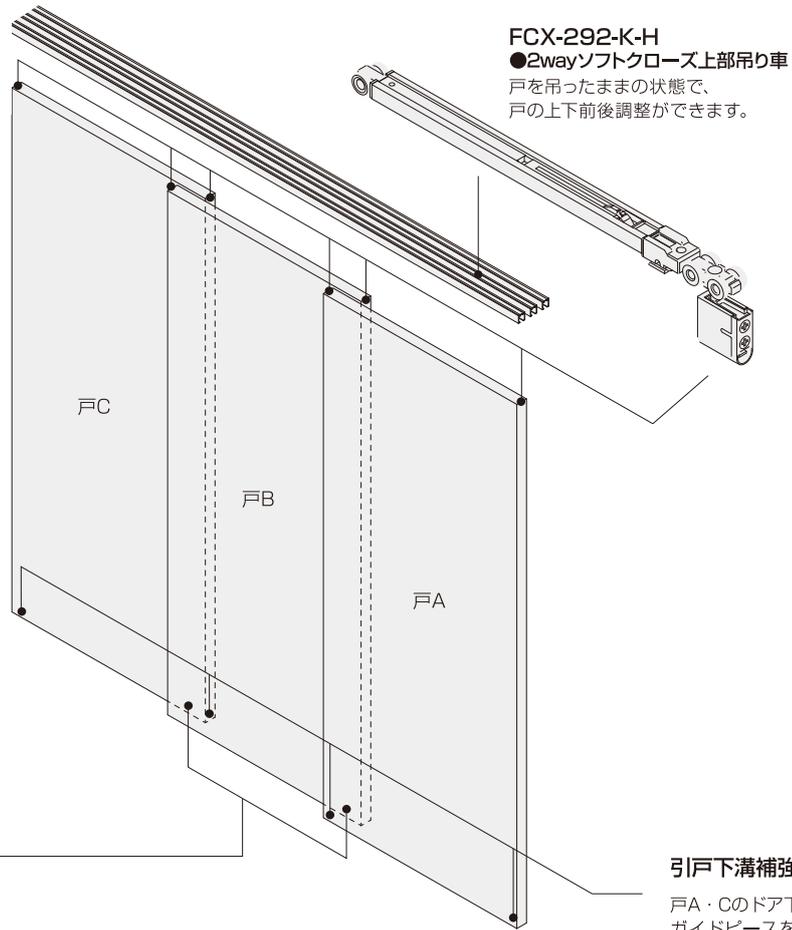
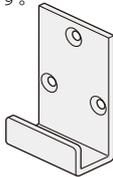
各扉の下部先端両小口に取付けます。受けは枠の所定の位置に取付けます。



## FG-960

### ●ガイドピース

戸Bの下部先端両面に取付け、ガイド部分を戸A・Cの溝の中に入れて開閉時に戸を連動開閉させます。



## FCX-292-K-H

### ●2wayソフトクローズ上部吊り車

戸を吊ったままの状態、戸の上下前後調整ができます。

## HR-150

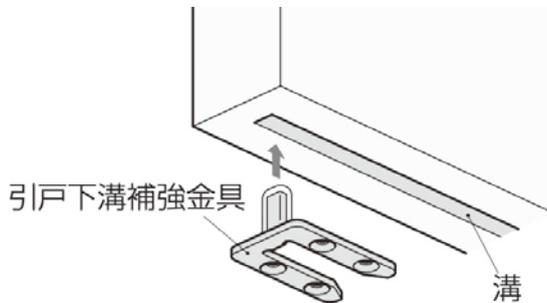
### ●上部レール



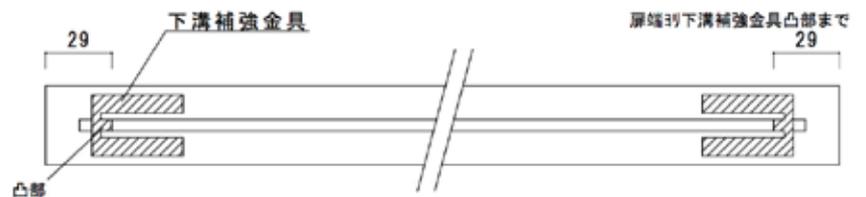
## 引戸下溝補強金具 (4箇所)

戸A・Cのドア下部に取付けます。ガイドピースをキャッチし戸の走行をストップさせたり、閉めた戸のガタツキを防止したりします。

## ■戸下面の加工寸法参考図



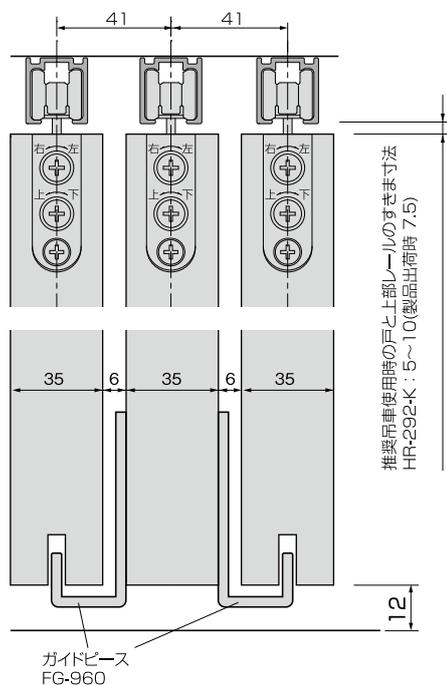
## 下溝補強金物取付け位置図



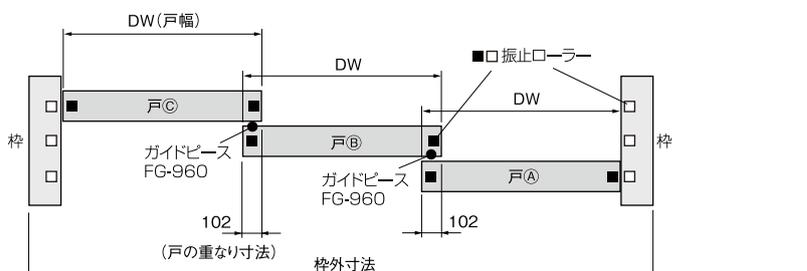
## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図

#### ●上下及び側面の納まり寸法



#### ●戸幅寸法の算出方法



#### ●3枚引き違いドア

枠外寸法 = ドア幅 × 3 - 144mm  
 ドア幅 = (枠外寸法 + 144mm) / 3

※ 戸の重なり寸法は、各ガイドがエンドクッションに入り込むために必要な寸法です。

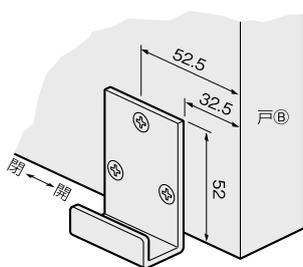
### ◎注意

- 正常に引戸を連動させるために、床と戸のスキマは12mmになるようにしてください。
- 吊車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。
- 幅と高さの比率が約1:5を超えるような引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

### ■金具の取付け位置

#### ●ガイドピースの取付け (戸Bの下部先端両面)

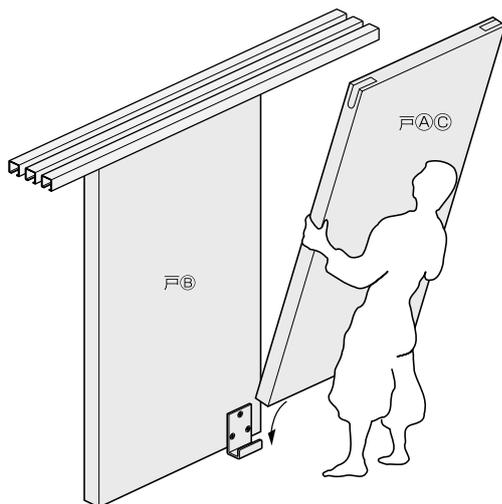
FG-960



## 施工ガイド

### ■戸の吊込み

- ① 戸Bをセンターのレールに先に吊り込みます。
- ② 戸AとCを戸Bのガイドピースに下部溝を被せるように設置します。
- ③ 戸とレール内上部吊車を接続します。



# 折れ戸用金具

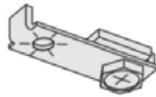
●「軸吊式下部レールなし」タイプは、ピボット金具により折戸を支持・開閉し、かつ、下にはレールを使用しないタイプです。比較的軽くて小さめの折戸にご利用ください。

## ■金具の使用場所

### HD-11

#### ●ピボット受け金具

レールに差し込み、スパナで締め付け、固定して取付けます。戸の左右調整ができます。



### HD-14

#### ●上部ピボット

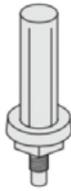
HD-11の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。軸はスプリングの内蔵により上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。



### HD-13

#### ●下部ピボット

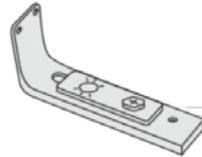
HD-15の受坪に軸先を挿入します。戸に掘込んで取付けます。六角部分を回すことにより戸の上下調整ができます。



### HD-15

#### ●下部ピボット受け金具

下部レールを使用しない場合に床と柱に取付けます。左右の位置調整が可能です。



### HD-001

#### ●掘込用上部レール



### HD-21

#### ●案内ランナー

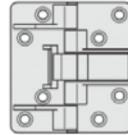
レール内を走行し、軸はスプリングの内蔵により上下動し、戸と枠とのすきまのバラつきに対応します。戸に掘込んで取付けます。



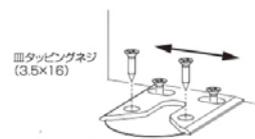
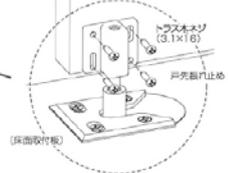
### HD-35

#### ●収納折戸用丁番

裏面直付け。折戸の開き角度0°~15°、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。キャッチが効いているため開閉時に戸がぶらつきません。

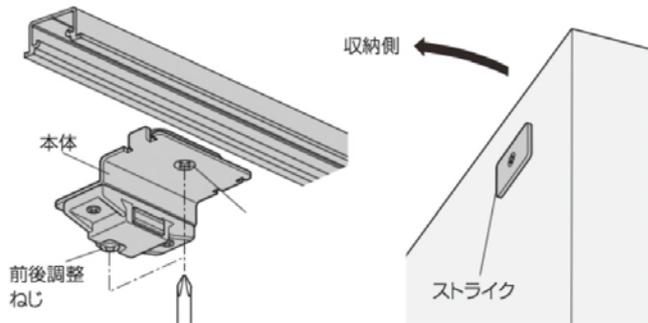


### ■振れ止め金具 NP-61



## ■開き戸用キャッチ(HD-100)の取付け ※観音開き用 (「折戸+開き戸」にする場合)

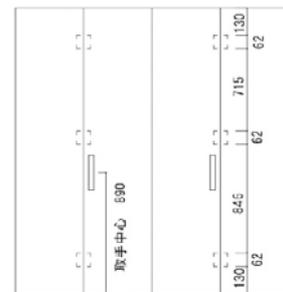
- ① ストライクを開き戸の収納側に木ねじ止めします。
- ② 開き戸用キャッチ本体をレールに差し込み、固定ねじをドライバーで締め付け固定します。
- ③ 前後調整ねじにより、戸厚に対する調整をしてください。



※戸の吊込みは、折戸の吊込みに準じてください。

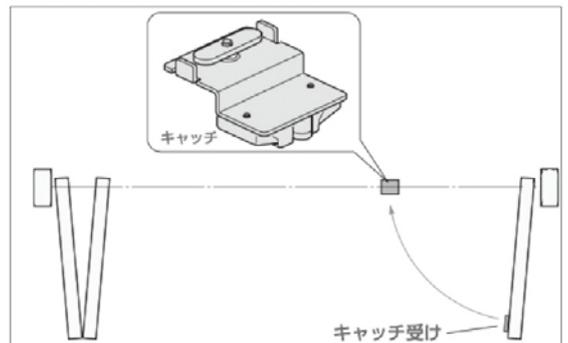
## ■丁番取付位置

※gp・マツ浪漫ドアは現場取付



振止め金具は、扉の裏側に取付願います。

## ■開き戸用キャッチ取付位置図

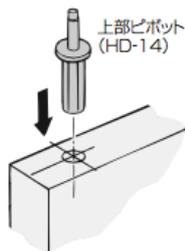


## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

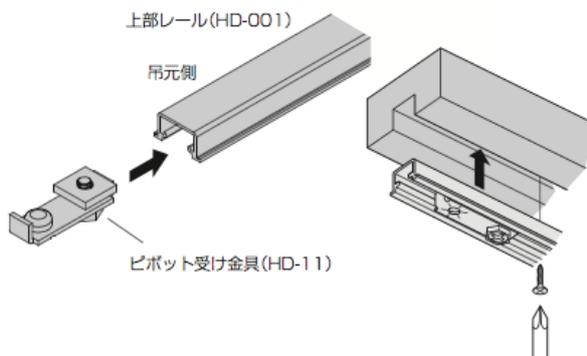
#### 1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸に加工した穴に、下部ピボット(HD-13)またはHD-16)、上部ピボット(HD-14)、案内ランナー(HD-21)を挿入します。



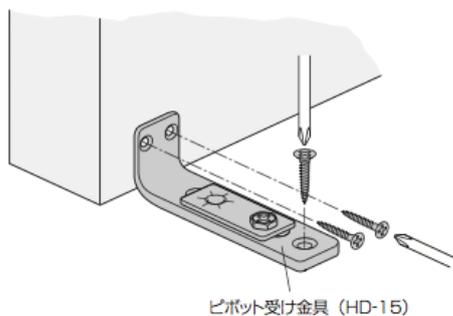
#### 2. レールの取付け

- ① 上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上部レール内に挿入しておきます(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)。
- ② レールを取付けてください。



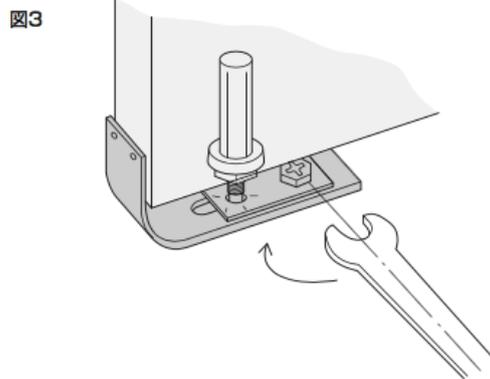
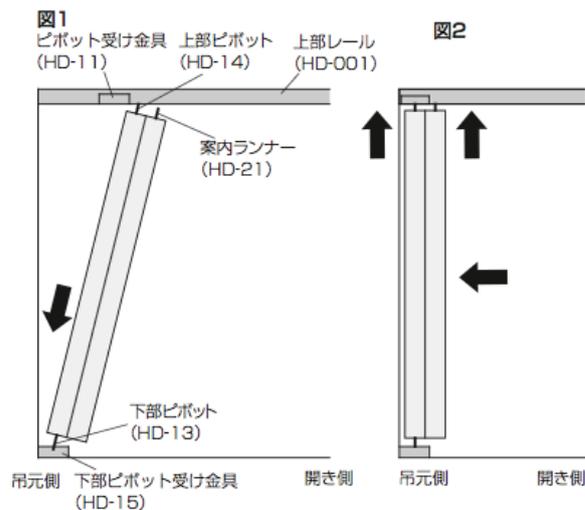
#### 3. 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具(HD-15)を床(または下枠)と縦枠に木ねじ止めします。



### ■戸の吊込み

- ① ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます。
- ④ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください(図3)。



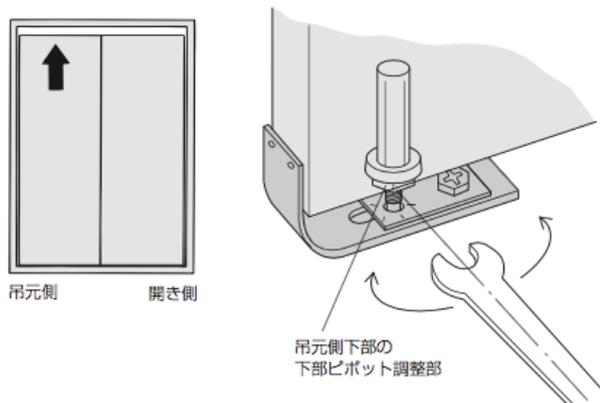
### ■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

→ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。

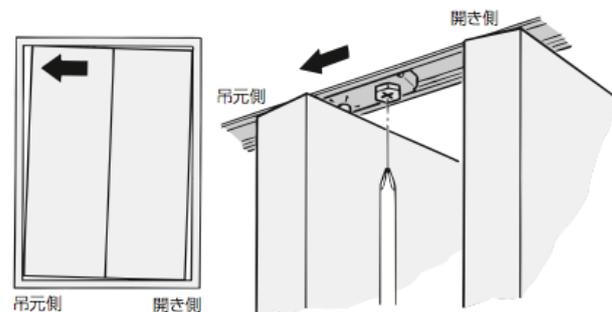
※ 調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合

→ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。



*with*  
**room**

室内ドア 設計施工図面集 Vol.3.0



**Prairie Homes**  
プレイリーホームズ 株式会社

<http://www.prairie.co.jp>

お問合せ  
受付番号 **052-930-7855**

営業時間 8:30~17:00(土日祝・年末年始を除く)

名古屋 〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F  
TEL.(052)930-7855 FAX.(052)930-7856

松本 〒390-1131 長野県松本市今井5031  
TEL.(0263)50-3911 FAX.(0263)50-3912